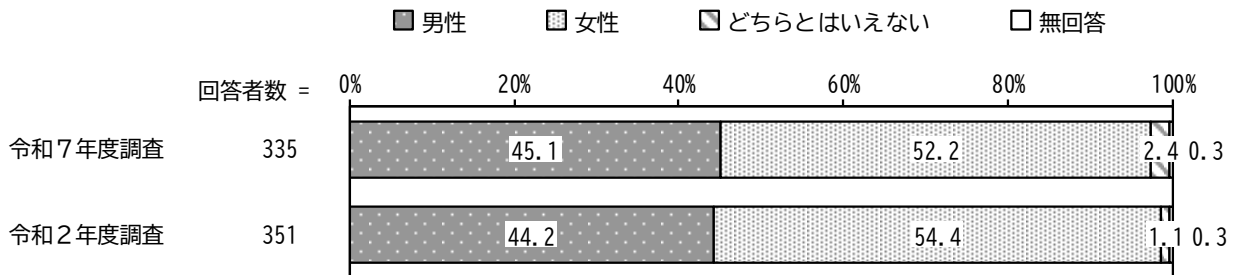


V 青少年向け調査結果

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

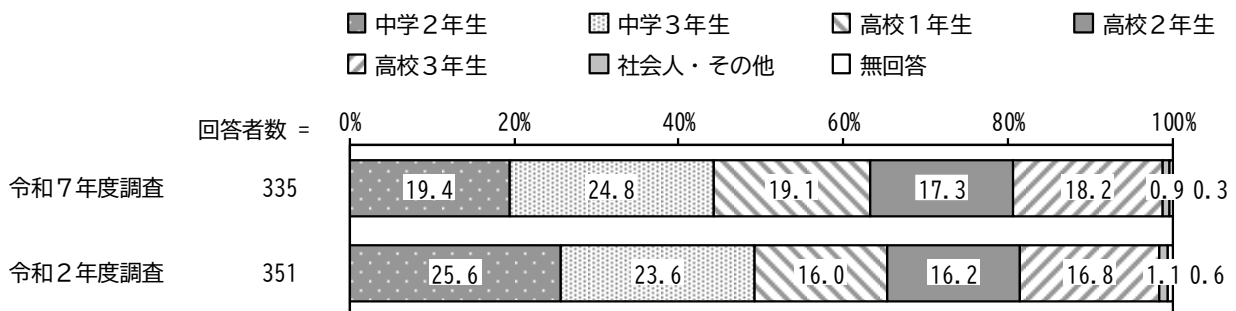
「男性」の割合が45.1%、「女性」の割合が52.2%となっています。
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたの学年を教えてください。(○は1つ)

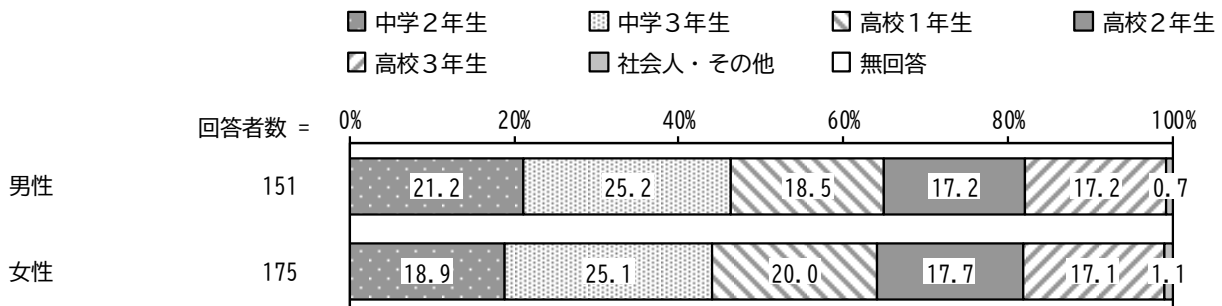
「中学3年生」の割合が24.8%と最も高く、次いで「中学2年生」の割合が19.4%、「高校1年生」の割合が19.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「中学2年生」の割合が6.2ポイント減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

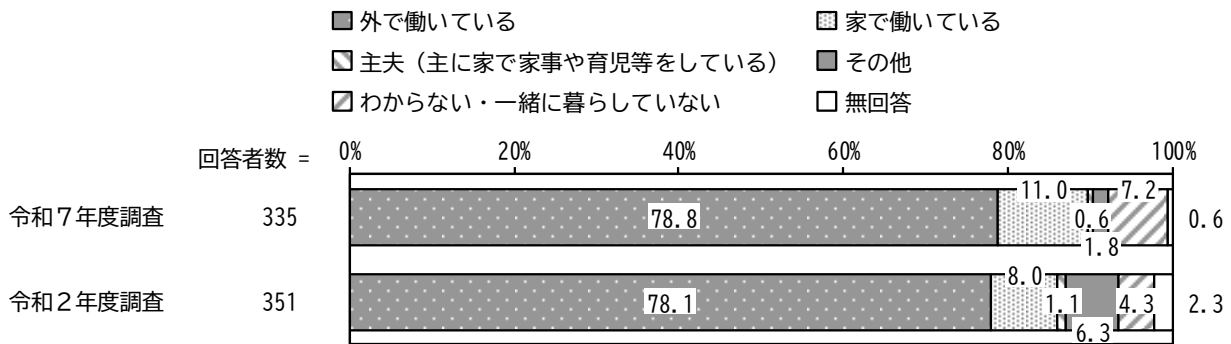


問3 あなたの父親・母親は、現在、どのように働いていますか。
(それぞれの項目について○は1つずつ)

父親

「外で働いている」の割合が78.8%、「家で働いている」の割合が11.0%、「主夫（主に家で家事や育児等をしている）」の割合が0.6%となっています。

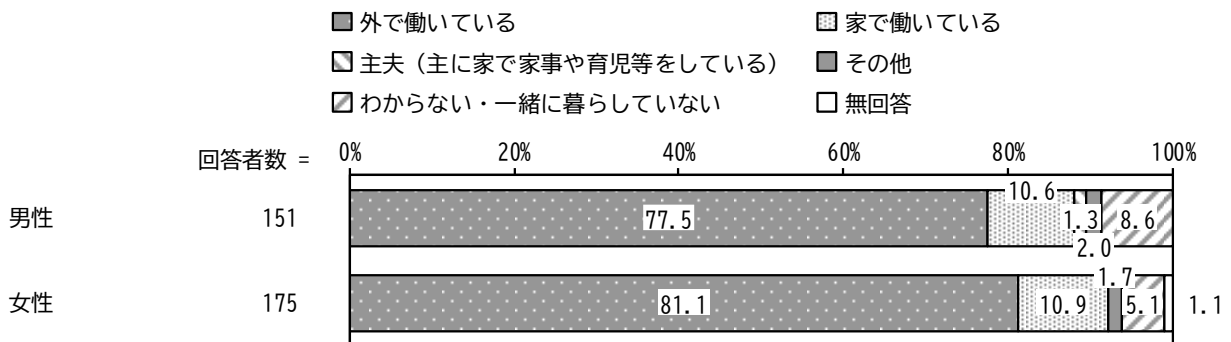
令和2年度調査と比較すると、「家で働いている」の割合は、令和2年度調査が8.0%であるのに対し、令和7年度調査が11.0%と割合が3ポイント増加しています。



※令和2年度調査では、「わからない・一緒に暮らしていない」が「わからない」となっていました。

【性別】

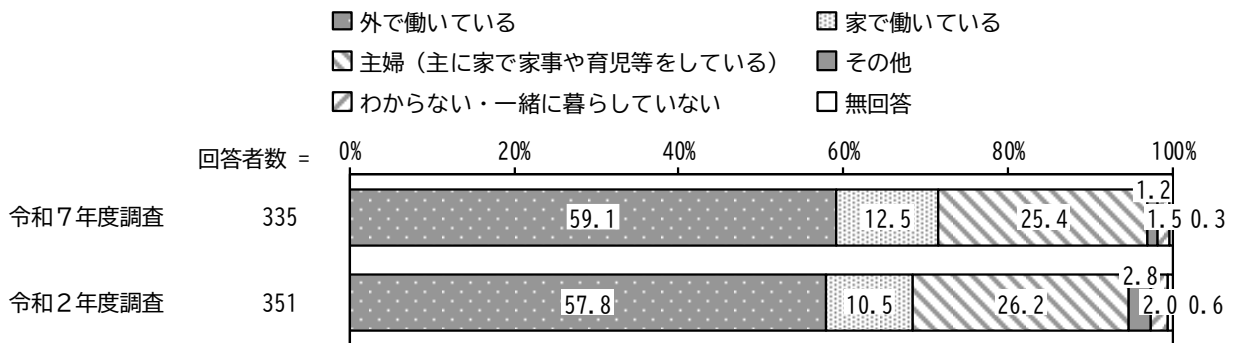
性別にみると、大きな差はみられません。



母親

「外で働いている」の割合が59.1%、「家で働いている」の割合が12.5%、「主婦（主に家で家事や育児等をしている）」の割合が25.4%となっています。

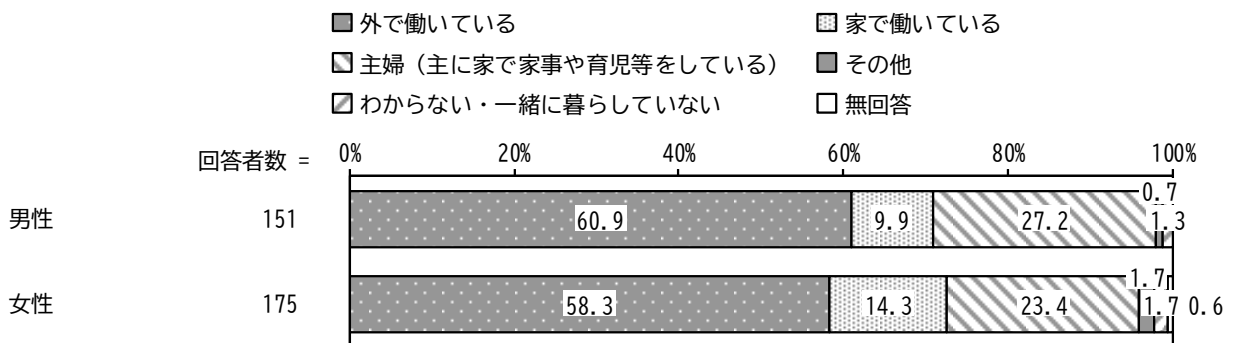
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



※令和2年度調査では、「わからない・一緒に暮らしていない」が「わからない」となっていました。

【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



(2) 日々の生活や学校生活について

問4 あなたは、今の社会では性別等の違いによって立場の強さに違いがあると思いますか。
(それぞれの項目について○は1つずつ)

『③社会全体として』では「男性の方がとても優遇されている（強い立場にある）」と「どちらかと言えば男性の方が優遇されている（強い立場にある）」を合わせた“男性優遇”の割合が高く、『②学校教育の場』で「平等だと思っている」及び「どちらかと言えば女性の方が優遇されている（強い立場にある）」と「女性の方がとても優遇されている（強い立場にある）」を合わせた“女性優遇”の割合が高くなっています。

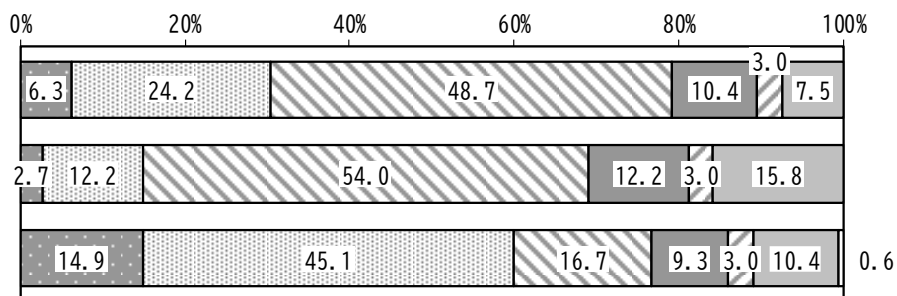
- 男性の方がとても優遇されている（強い立場にある）
- ▨ どちらかと言えば男性の方が優遇されている（強い立場にある）
- ▩ 平等だと思っている
- どちらかと言えば女性の方が優遇されている（強い立場にある）
- ▨ 女性の方がとても優遇されている（強い立場にある）
- わからない
- 無回答

回答者数 = 335

①家庭生活

②学校教育の場

③社会全体として



①家庭生活

【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 男性の方がとても優遇されている（強い立場にある）
- ▨ どちらかと言えば男性の方が優遇されている（強い立場にある）
- ▩ 平等だと思っている
- どちらかと言えば女性の方が優遇されている（強い立場にある）
- ▨ 女性の方がとても優遇されている（強い立場にある）
- わからない
- 無回答

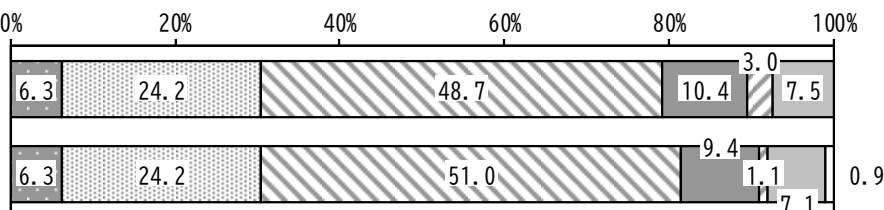
回答者数 =

令和7年度調査

335

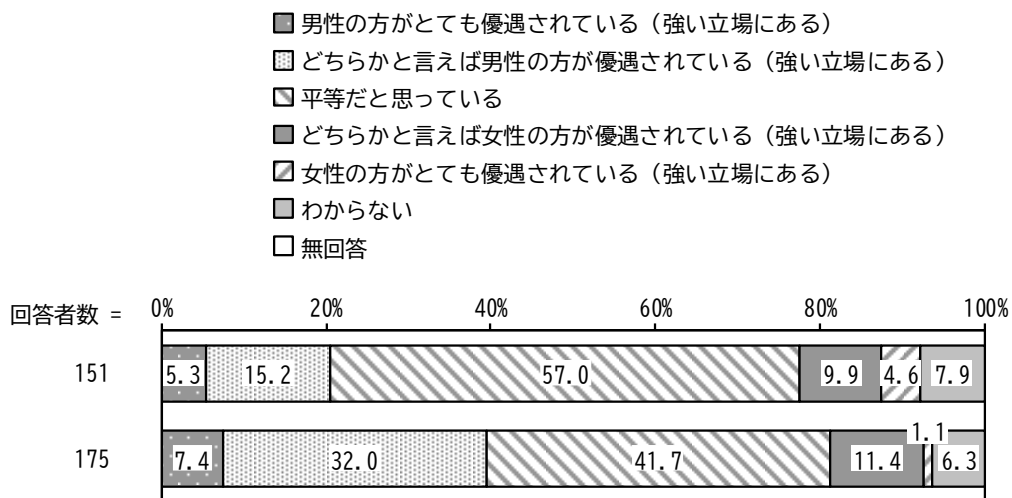
令和2年度調査

351



【性別】

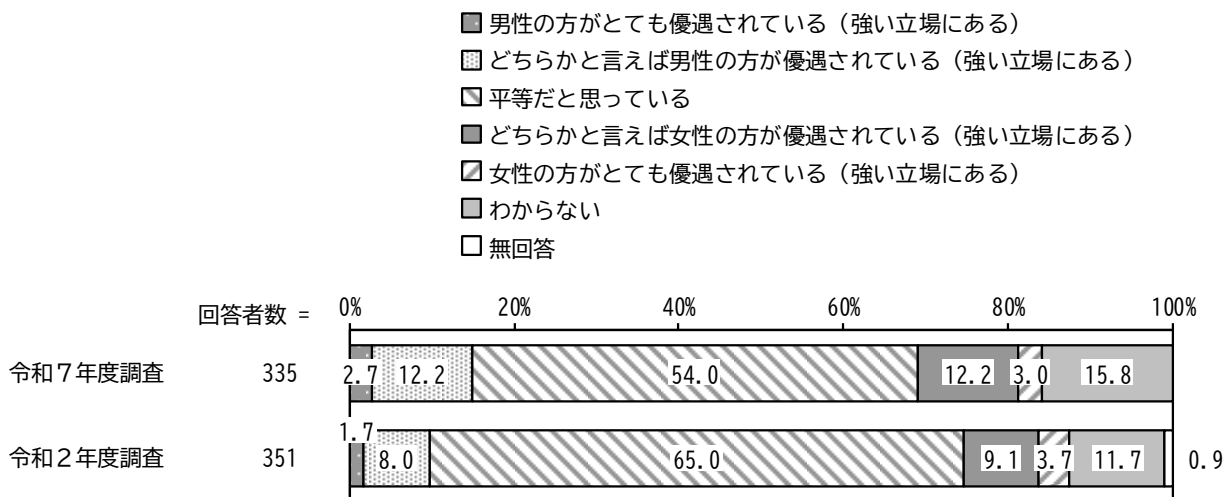
性別にみると、「平等だと思っている」の割合は男性が57.0%、女性が41.7%と男性の方が15.3ポイント多く、「男性優遇」の割合は男性が20.5%、女性が39.4%と女性の方が18.9ポイント多くなっています。



②学校教育の場

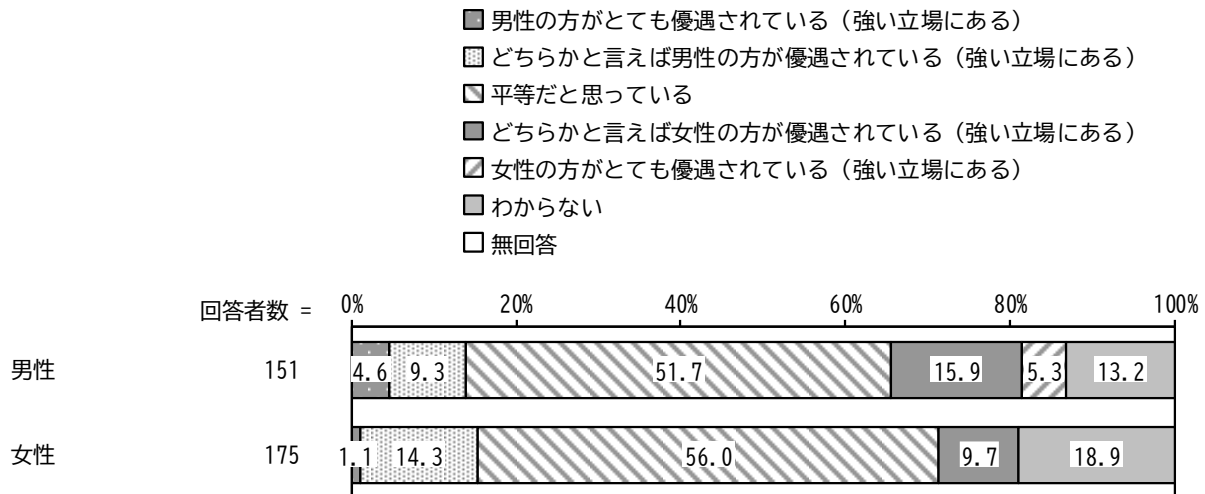
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「男性優遇」の割合は、令和2年度調査が9.7%であるのに対し、令和7年度調査が14.9%と5.2ポイント増加しています。一方、「平等だと思っている」の割合は、令和2年度調査が65.0%であるのに対し、令和7年度調査が54.0%と11ポイント減少しています。



【性別】

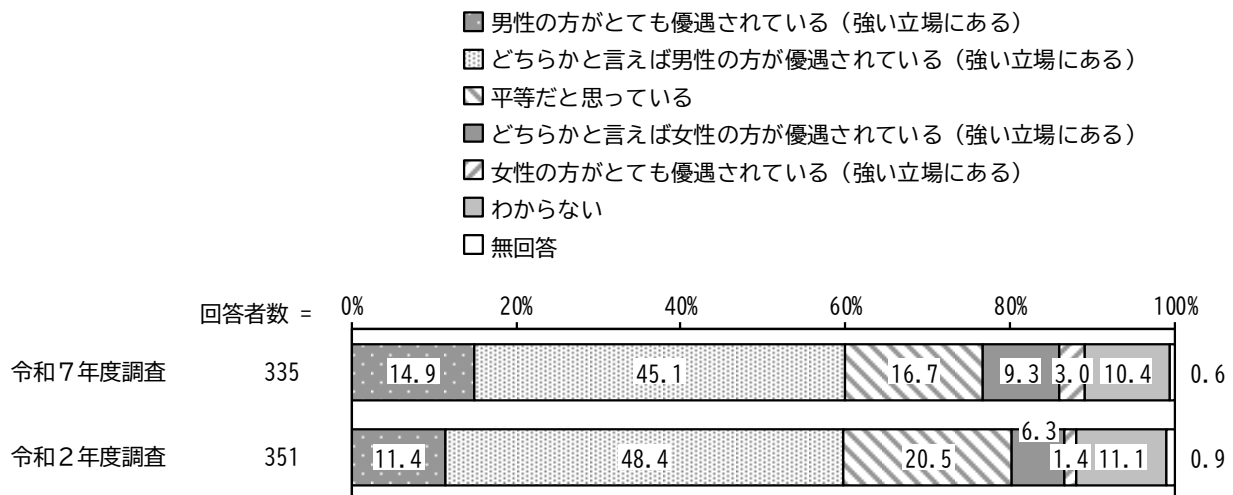
性別にみると、“女性優遇”の割合は、男性が21.2%、女性が9.7%と、男性の方が11.5ポイント多くなっています。



③社会全体として

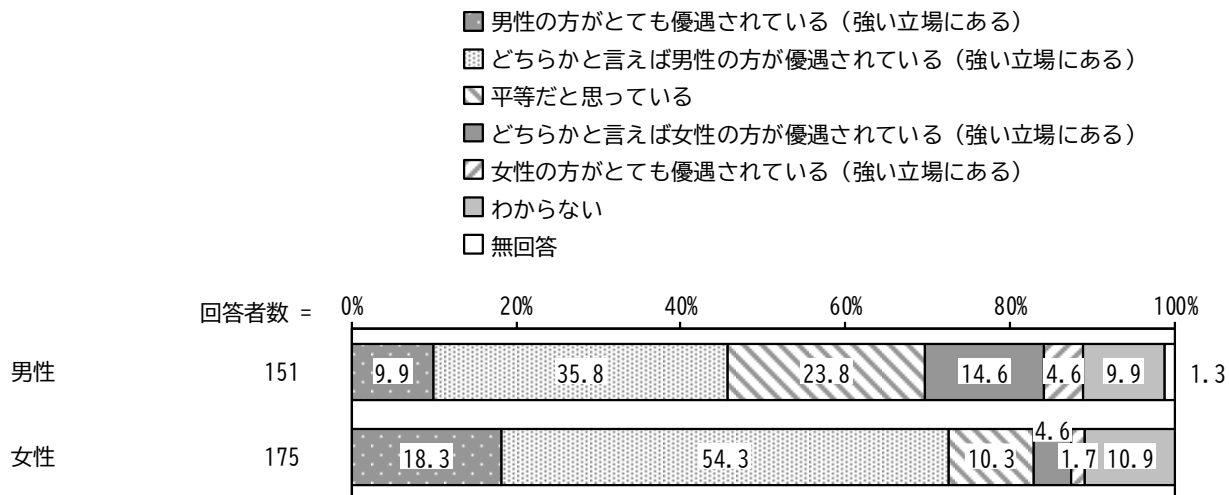
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、“女性優遇”の割合は、令和7年度調査が7.7%であるのに対し、令和2年度調査が12.3%と、4.6ポイント増加しています。一方、「平等だと思っている」の割合は、令和2年度調査が20.5%であるのに対し、令和7年度調査が16.7%と、3.8ポイント減少しています。



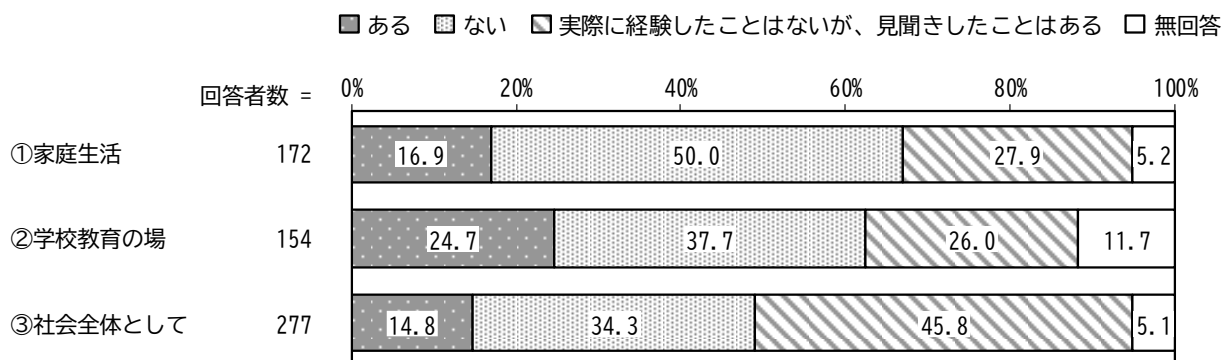
【性別】

性別にみると、「平等だと思っている」の割合は、男性が23.8%、女性が10.3%と、男性の方が13.5ポイント多く、「女性優遇」の割合は、男性が19.2%、女性が6.3%と、男性の方が12.9ポイント多く、「男性優遇」の割合は、男性が45.7%、女性が72.6%と、女性の方が26.9ポイント多くなっています。



問4-1 問4で、「平等だと思っている」以外に○を付けた方にお聞きします。
あなたは次の分野①～③について、性別等によって不利益を被った経験はありますか？（それぞれの項目について○は1つずつ）

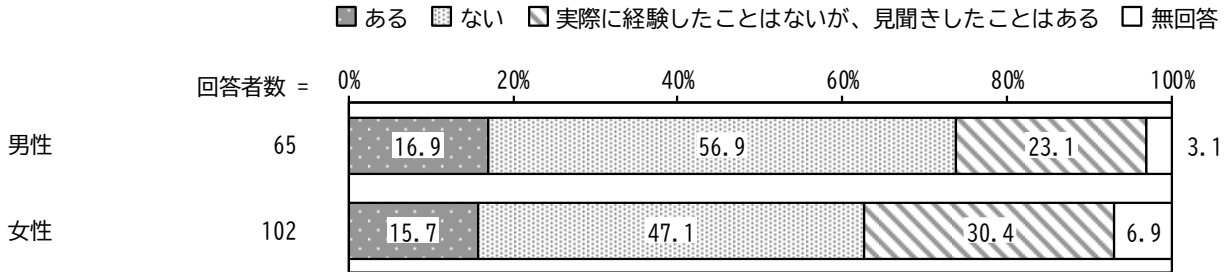
『②学校教育の場』で「ある」が、『①家庭生活』で「ない」が、『③社会全体として』で「実際に経験したことはないが、見聞きしたことはある」が高くなっています。



①家庭生活

【性別】

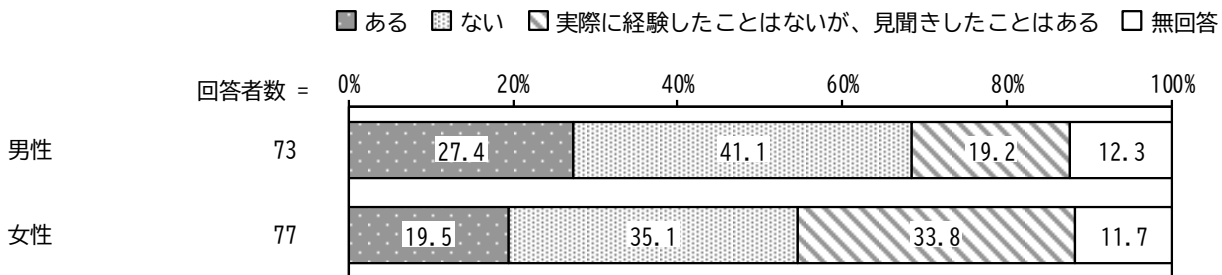
性別にみると、「ない」の割合は、男性が56.9%、女性が47.1%と、男性の方が9.8ポイント多く、「実際に経験したことはないが、見聞きしたことはある」の割合は、男性が23.1%、女性が30.4%と、女性の方が7.3ポイント多くなっています。



②学校教育の場

【性別】

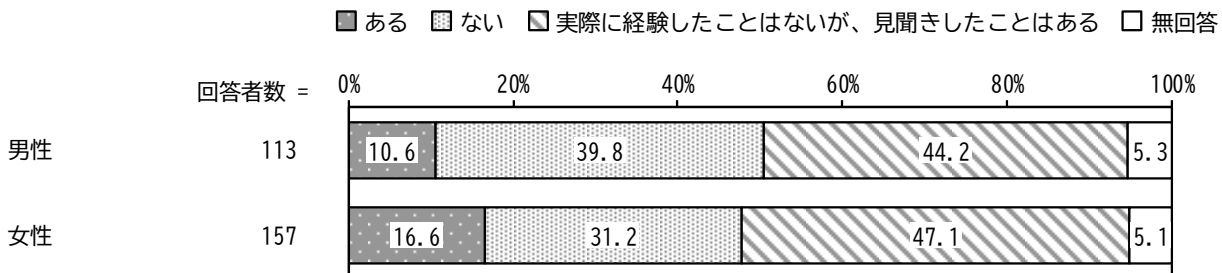
性別にみると、「ある」の割合は、男性が27.4%、女性が19.5%と、男性の方が7.9ポイント、「ない」の割合は、男性が41.1%、女性が35.1%と、男性の方が6ポイント多く、「実際に経験したことはないが、見聞きしたことはある」の割合は、男性が19.2%、女性が33.8%と、女性の方が14.6ポイント多くなっています。



③社会全体として

【性別】

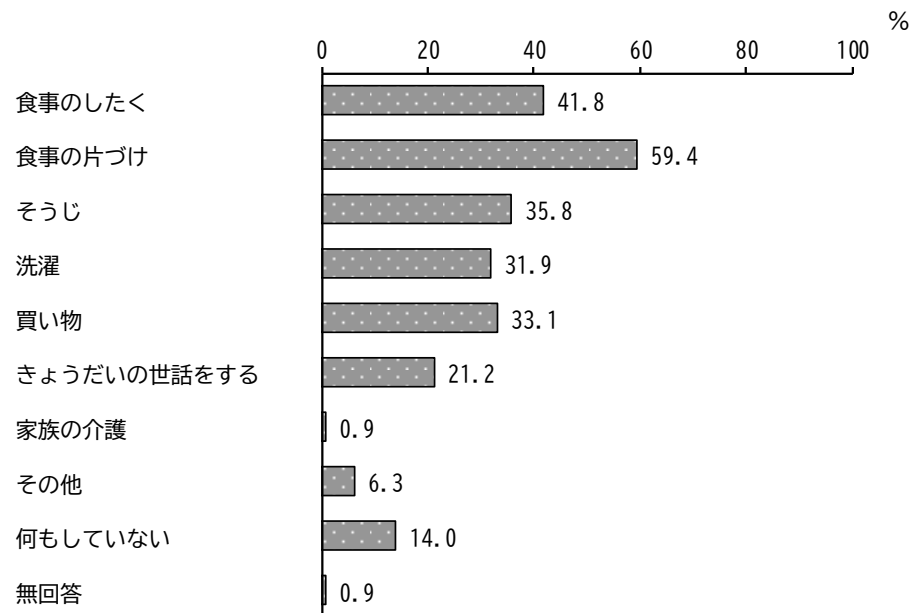
性別にみると、「ない」の割合は、男性が39.8%、女性が31.2%と、男性の方が8.6ポイント多く、「ある」の割合は、男性が10.6%、女性が16.6%と、女性の方が6ポイント多くなっています。



問5 あなたが家でしている、あるいはすることがある手伝いは何ですか。
(あてはまるものをすべてに○)

「食事の片づけ」の割合が59.4%と最も高く、次いで「食事のしたく」の割合が41.8%、「そうじ」の割合が35.8%となっています。

回答者数 = 335



【性別】

性別にみると、「そうじ」の割合は、男性が31.1%、女性が40.6%と、女性の方が9.5ポイント多くなっています。

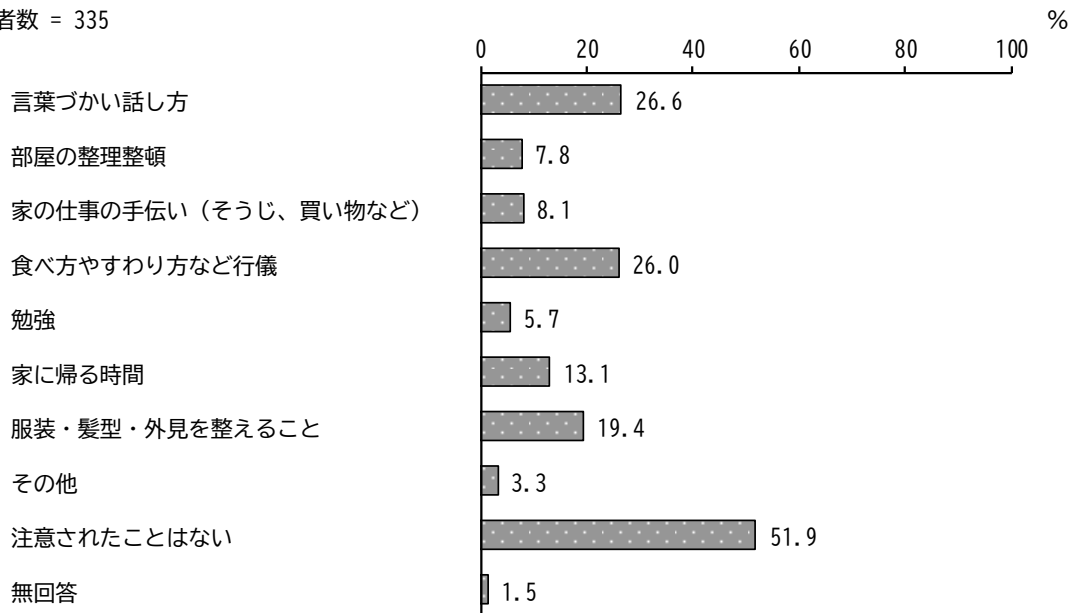
単位：%

区分	回答者数(件)	食事のしたく	食事の片づけ	そうじ	洗濯	買い物	きょうだいの世話をする	家族の介護	その他	何もしていない	無回答
全体	335	41.8	59.4	35.8	31.9	33.1	21.2	0.9	6.3	14.0	0.9
男性	151	39.1	58.9	31.1	32.5	33.8	22.5	0.7	6.0	13.9	1.3
女性	175	44.0	60.0	40.6	31.4	32.6	20.0	1.1	6.9	14.3	0.6

問6 あなたは「男または女だから〇〇しなさい」と注意されたことがありますか。
(あてはまるものをすべてに○)

「注意されたことはない」の割合が51.9%と最も高く、次いで「言葉づかい話し方」の割合が26.6%、「食べ方やすわり方など行儀」の割合が26.0%となっています。

回答者数 = 335



【性別】

性別にみると、「注意されたことはない」の割合は、男性が74.8%、女性が33.1%と、男性の方が41.7ポイント多く、「言葉づかい話し方」の割合は、男性が6.6%、女性が42.9%と、36.3ポイント、「部屋の整理整頓」の割合は、男性が2.0%、女性が13.1%と、11.1ポイント、「食べ方やすわり方など行儀」の割合は、男性が6.0%、女性が42.9%と、36.9ポイント、「家に帰る時間」の割合は、男性が1.3%、女性が22.3%と、21ポイント、「服装・髪型・外見を整えること」の割合は、男性が5.3%、女性が29.7%と、24.4ポイント、それぞれ女性の方が高くなっています。

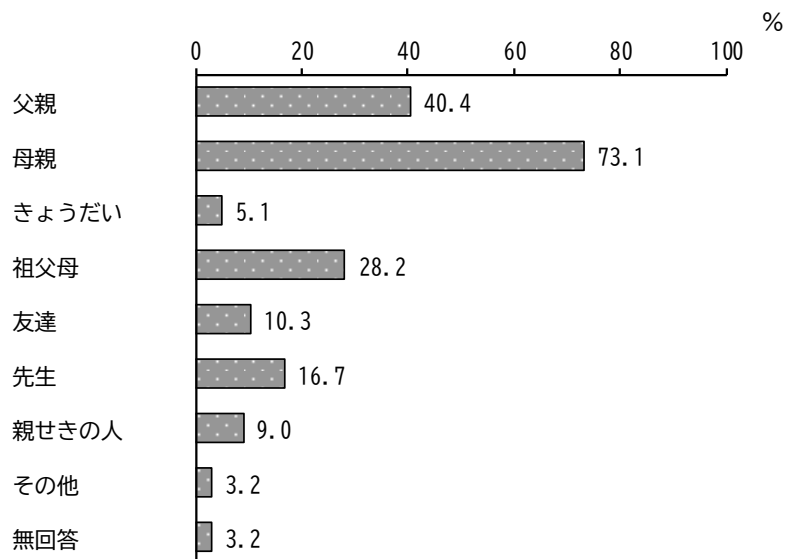
単位：%

区分	回答者数 (件)	言葉づかい話し方	部屋の整理整頓	家の仕事の手伝い (そうじ、買い物など)	食べ方やすわり方など行儀	勉強	家に帰る時間	服装・髪型・外見を整えること	その他	注意されたことはない	無回答
全体	335	26.6	7.8	8.1	26.0	5.7	13.1	19.4	3.3	51.9	1.5
男性	151	6.6	2.0	7.3	6.0	6.6	1.3	5.3	4.6	74.8	2.6
女性	175	42.9	13.1	9.1	42.9	4.6	22.3	29.7	1.7	33.1	0.6

問6-1 問6で「注意されたことはない」以外のいずれかを選択した場合に教えてください。だれから言われましたか。(あてはまるものをすべてに○)

「母親」の割合が73.1%と最も高く、次いで「父親」の割合が40.4%、「祖父母」の割合が28.2%となっています。

回答者数 = 156



【性別】

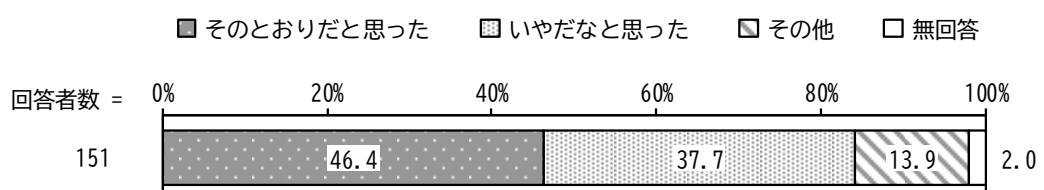
性別にみると、「父親」の割合は、男性が55.9%、女性が35.3%と、20.6ポイント、「母親」の割合は、男性が85.3%、女性が69.8%と、15.5ポイント、「きょうだい」の割合は、男性が14.7%、女性が2.6%と、12.1ポイント、「友達」の割合は、男性が14.7%、女性が6.9%と、7.8ポイント、男性の方が多く、「祖父母」の割合は、男性が20.6%、女性が31.0%と、10.4ポイント、「先生」の割合は、男性が11.8%、女性が17.2%と、5.4ポイント、女性の方が多くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	父親	母親	きょうだい	祖父母	友達	先生	親せきの人	その他	無回答
全体	156	40.4	73.1	5.1	28.2	10.3	16.7	9.0	3.2	3.2
男性	34	55.9	85.3	14.7	20.6	14.7	11.8	5.9	5.9	2.9
女性	116	35.3	69.8	2.6	31.0	6.9	17.2	10.3	1.7	3.4

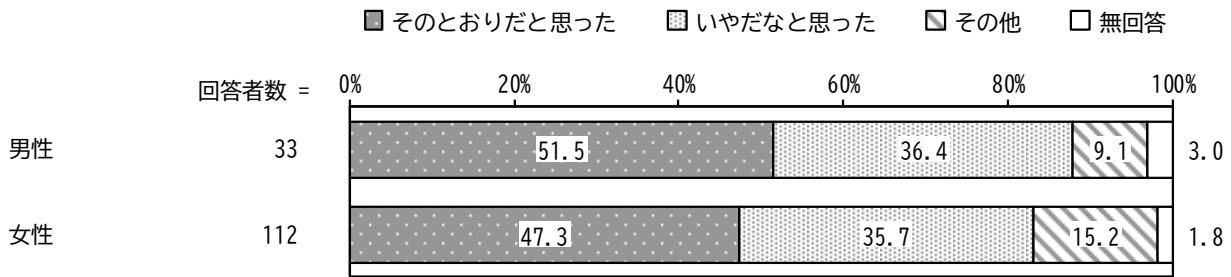
問6-2 問6-1で答えた人から注意されたとき、どのように思いましたか。(○は1つ)

「そのとおりだと思った」の割合が46.4%、「いやだなと思った」の割合が37.7%となっています。



【性別】

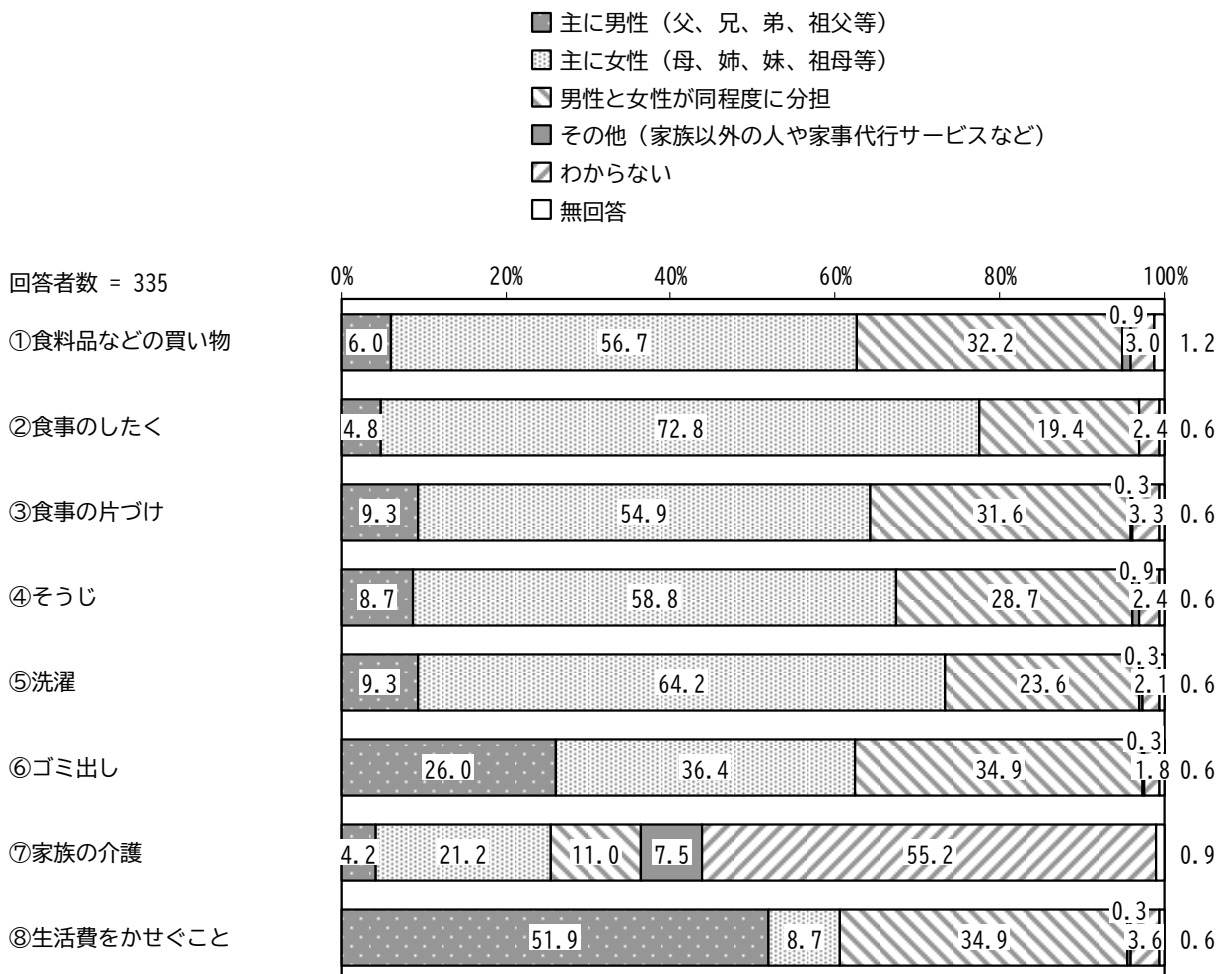
性別にみると、大きな差はみられません。



問7 あなたの家で、次の項目①～⑧の事柄を主にしているのは誰ですか。
(それぞれの項目について○は1つずつ)

①食料品などの買い物

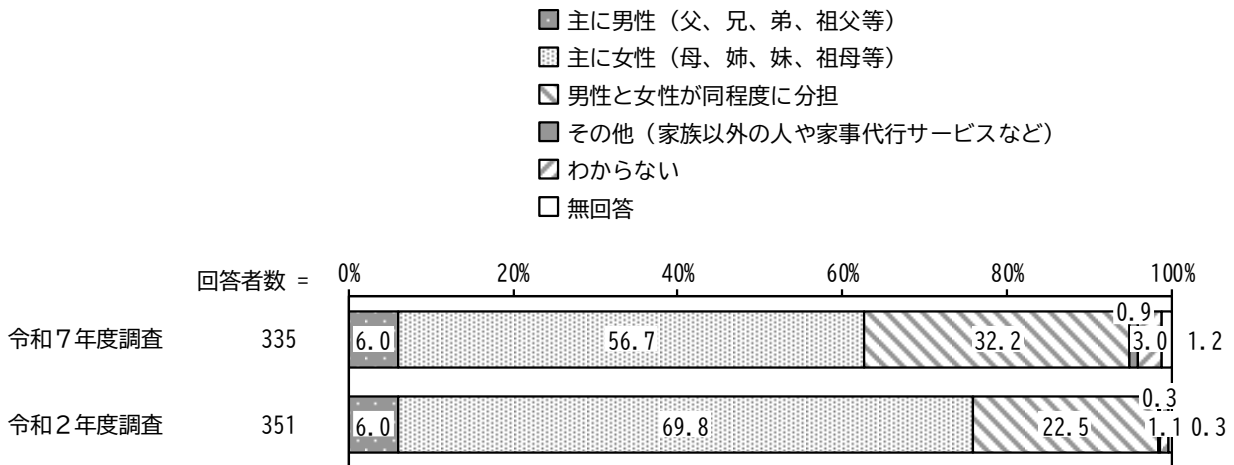
『⑧生活費をかせぐこと』で「主に男性（父、兄、弟、祖父等）」が、『②食事のしたく』で「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」が、『⑥ゴミ出し』『⑧生活費をかせぐこと』で「男性と女性が同程度に分担」が、『⑦家族の介護』で「その他（家族以外の人や家事代行サービスなど）」「わからない」が高くなっています。



①食料品などの買い物

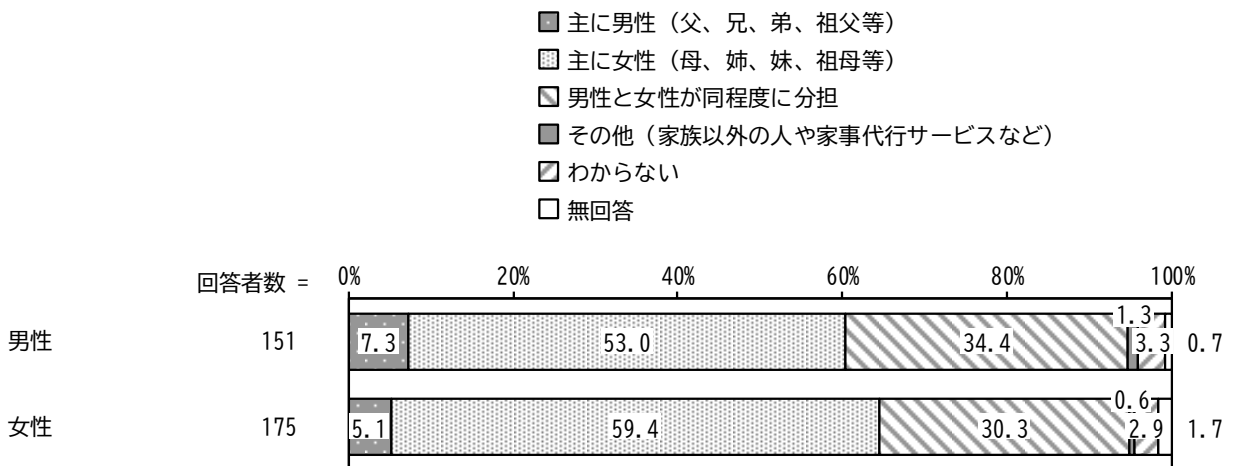
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「男性と女性が同程度に分担」の割合は、令和2年度調査が22.5%であるのに対し、令和7年度調査が32.2%と、9.7ポイント増加しています。一方、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、令和2年度調査が69.8%であるのに対し、令和7年度調査が56.7%と、13.1ポイント減少しています。



【性別】

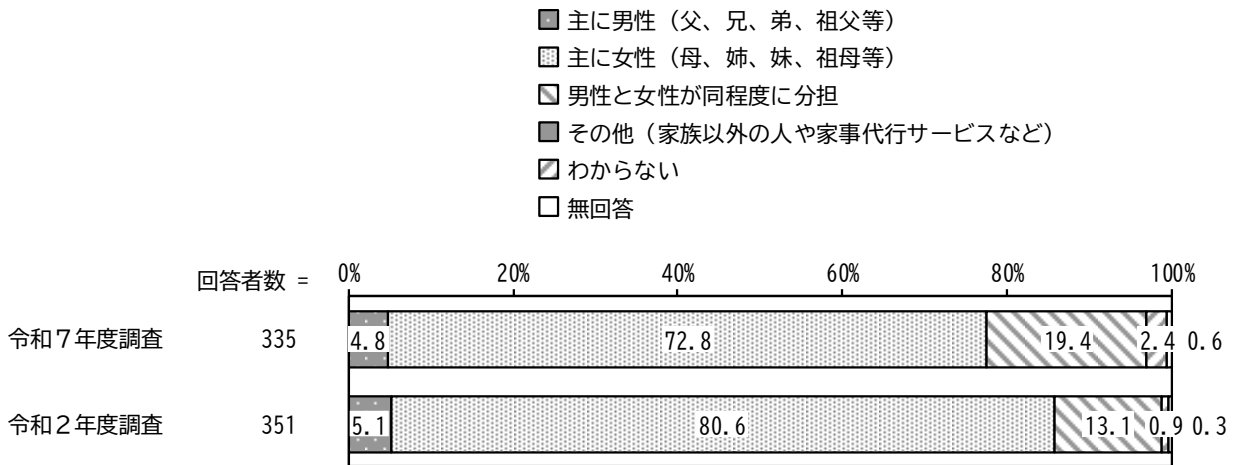
性別にみると、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、男性が53.0%、女性が59.4%と、女性の方が6.4ポイント多くなっています。



②食事のしたく

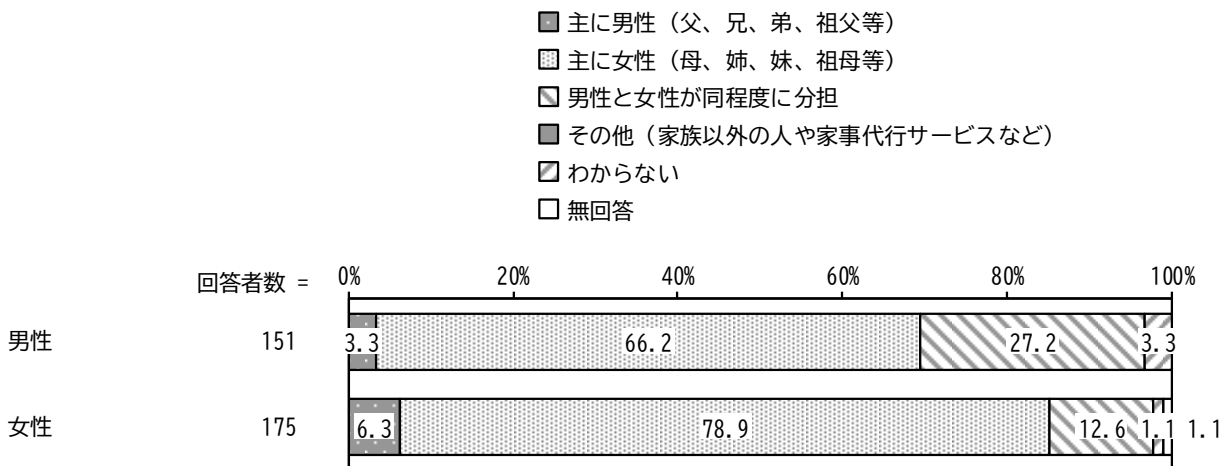
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「男性と女性が同程度に分担」の割合は、令和2年度調査が13.1%であるのに対し、令和7年度調査が19.4%と、6.3ポイント増加しています。一方、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、令和2年度調査が80.6%であるのに対し、令和7年度調査が72.8%と、7.8ポイント減少しています。



【性別】

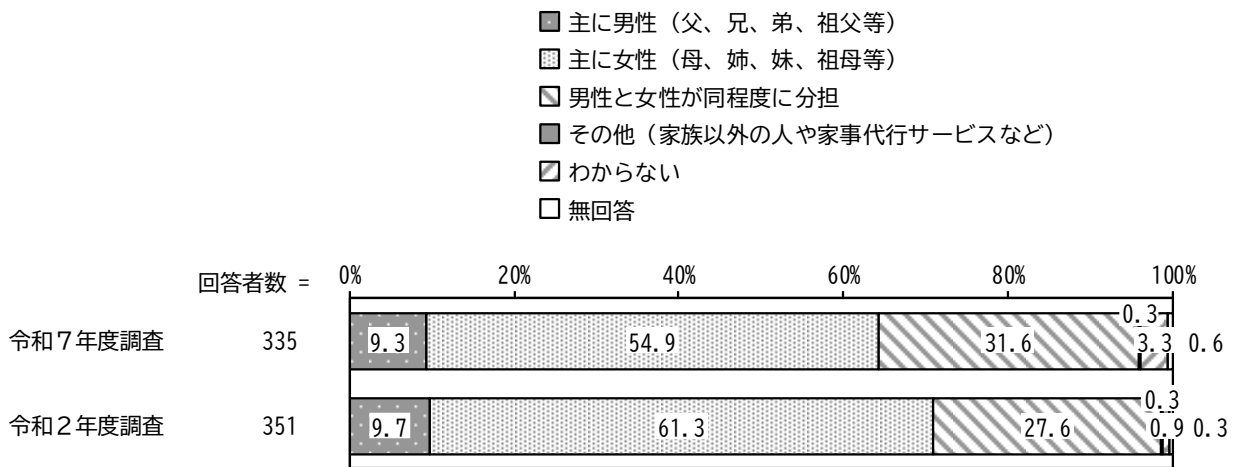
性別にみると、「男性と女性が同程度に分担」の割合は、男性が27.2%、女性が12.6%と、男性の方が14.6ポイント多く、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、男性が66.2%、女性が78.9%と、女性の方が12.7ポイント多くなっています。



③食事の片づけ

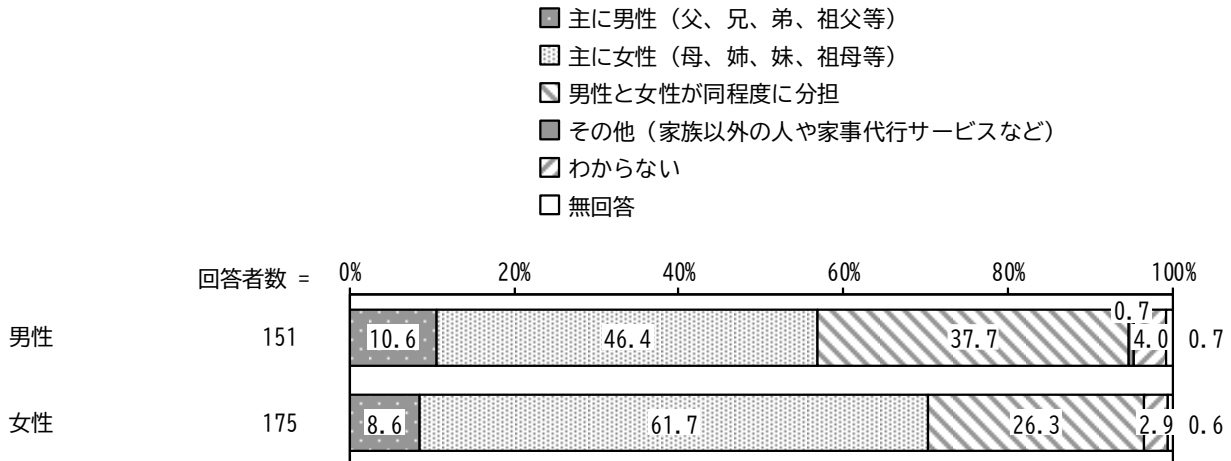
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、令和2年度調査が61.3%であるのに対し、令和7年度調査が54.9%と、6.4ポイント減少しています。



【性別】

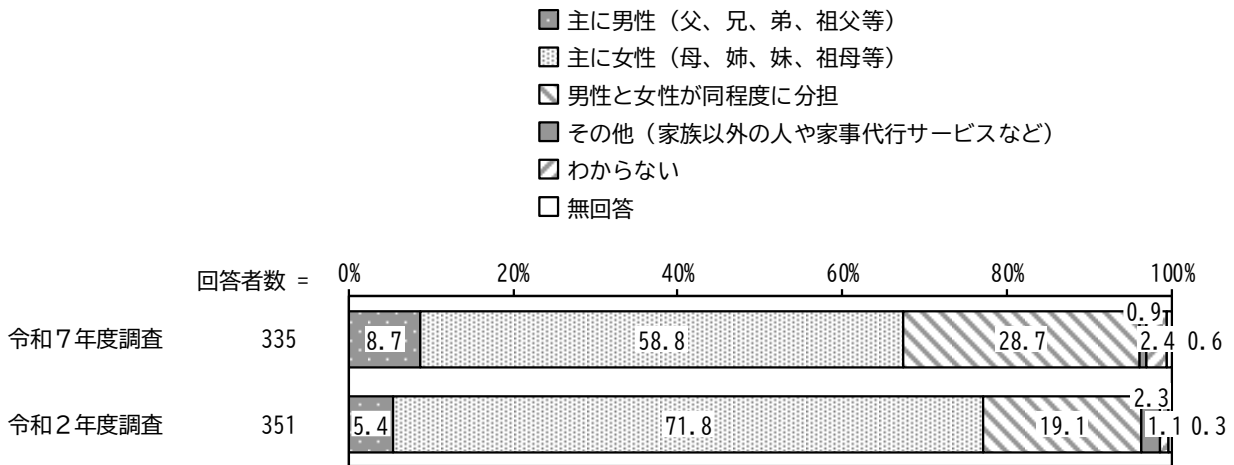
性別にみると、「男性と女性が同程度に分担」の割合は、男性が37.7%、女性が26.3%と、男性の方が11.4ポイント多く、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、男性が46.4%、女性が61.7%と、女性の方が15.3ポイント多くなっています。



④そうじ

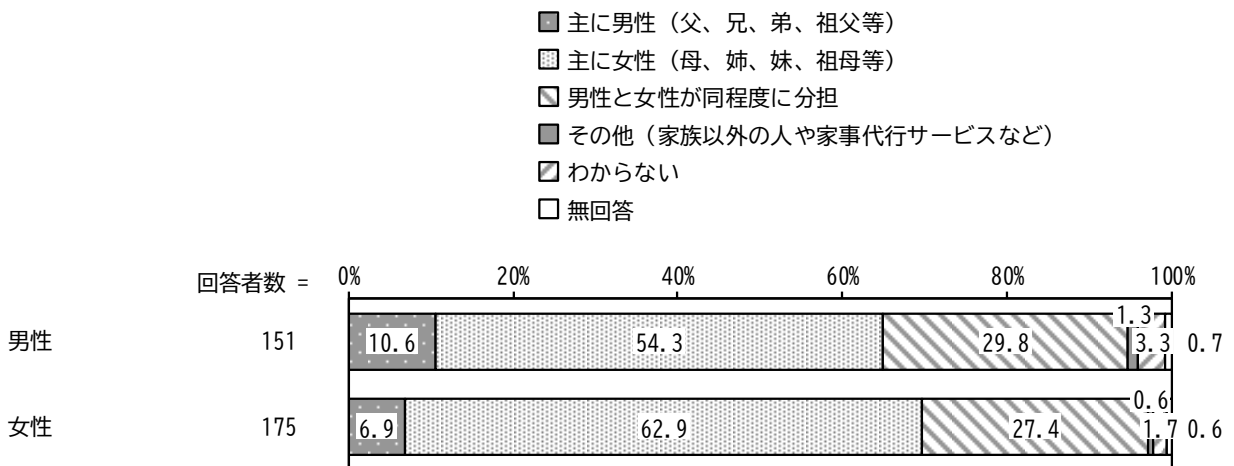
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「男性と女性が同程度に分担」の割合は、令和2年度調査が19.1%であるのに対し、令和7年度調査が28.7%と、9.6ポイント増加しています。一方、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、令和2年度調査が71.8%であるのに対し、令和7年度調査が58.8%と、13ポイント減少しています。



【性別】

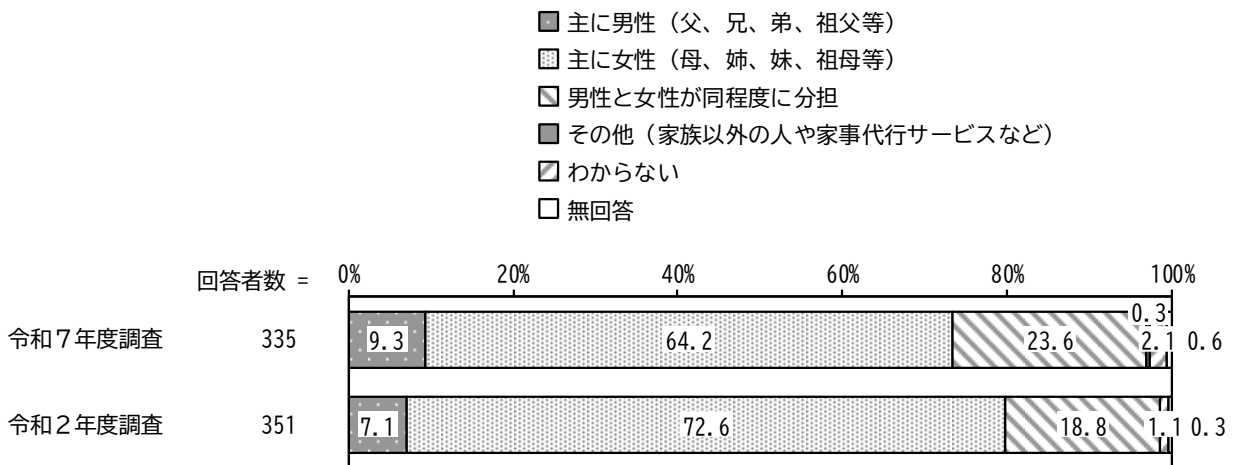
性別にみると、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、男性が54.3%、女性が62.9%と、女性の方が8.6ポイント多くなっています。



⑤洗濯

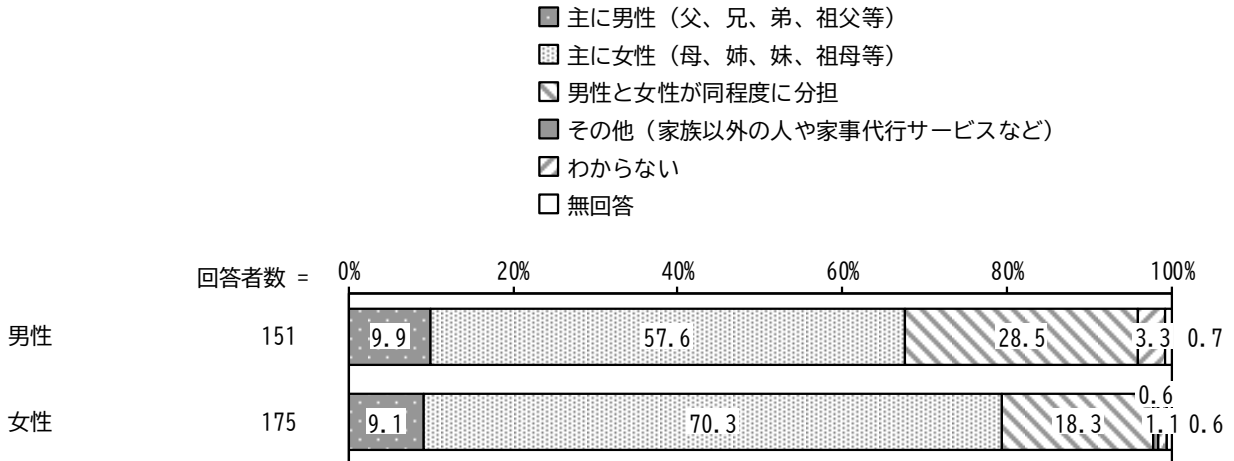
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、令和2年度調査が72.6%であるのに対し、令和7年度調査が64.2%と、8.4ポイント減少しています。



【性別】

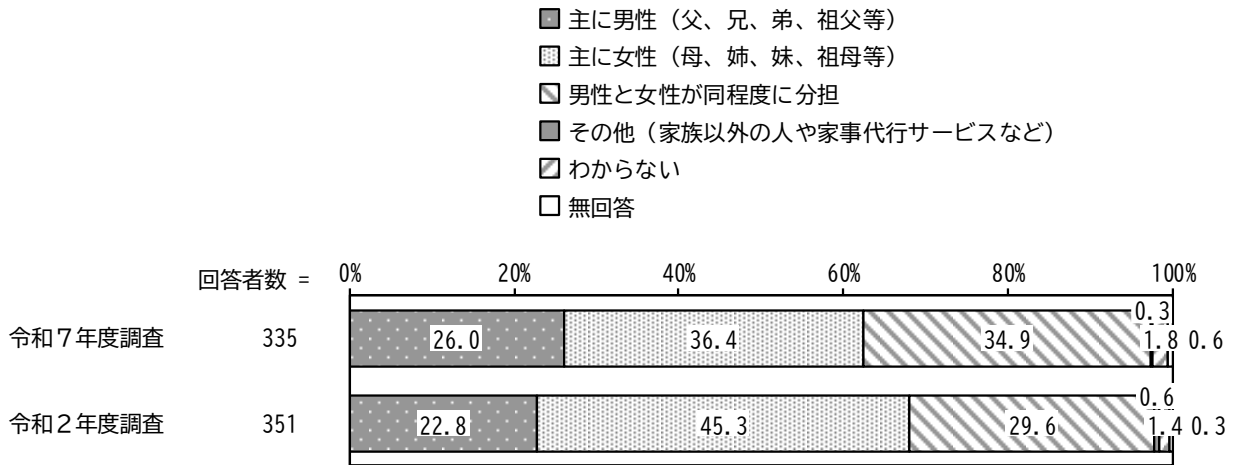
性別にみると、「男性と女性が同程度に分担」の割合は、男性が28.5%、女性が18.3%と、男性の方が10.2ポイント多く、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、男性が57.6%、女性が70.3%と、女性の方が12.7ポイント多くなっています。



⑥ゴミ出し

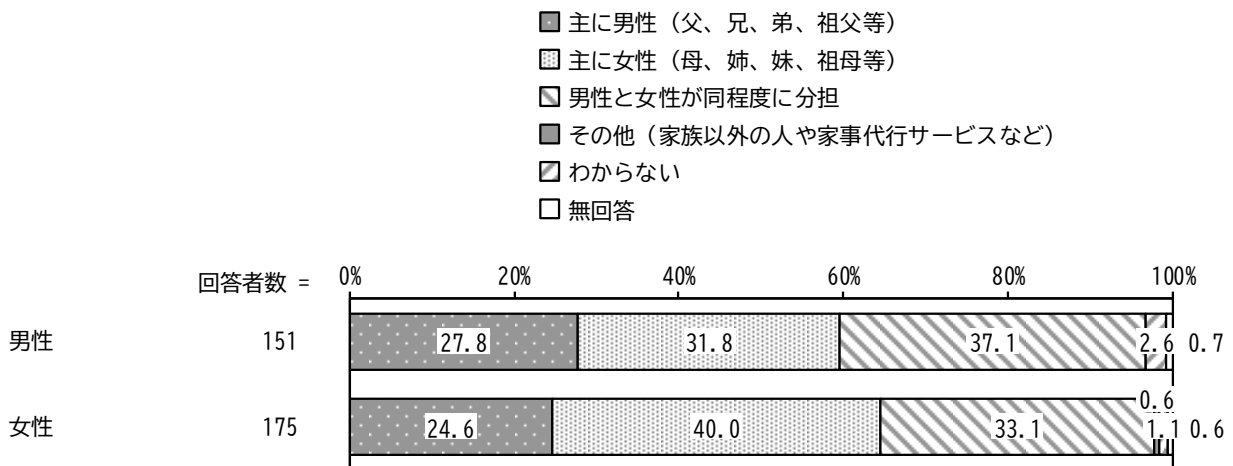
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「男性と女性が同程度に分担」の割合は、令和2年度調査が29.6%であるのに対し、令和7年度調査が34.9%と、5.3ポイント増加しています。一方、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、令和2年度調査が45.3%であるのに対し、令和7年度調査が36.4%と、8.9ポイント減少しています。



【性別】

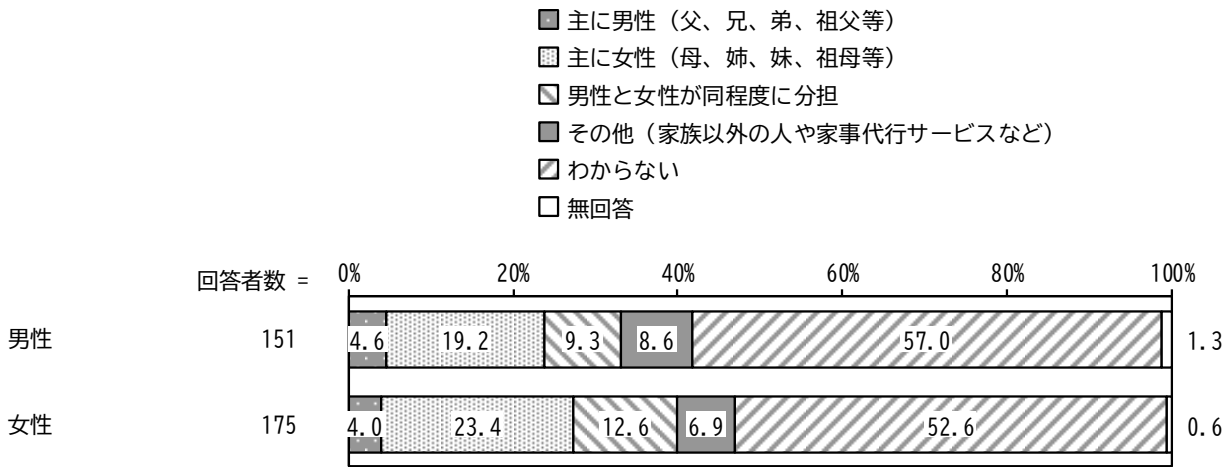
性別にみると、「主に女性（母、姉、妹、祖母等）」の割合は、男性が31.8%、女性が40.0%と、女性の方が8.2ポイント多くなっています。



⑦家族の介護

【性別】

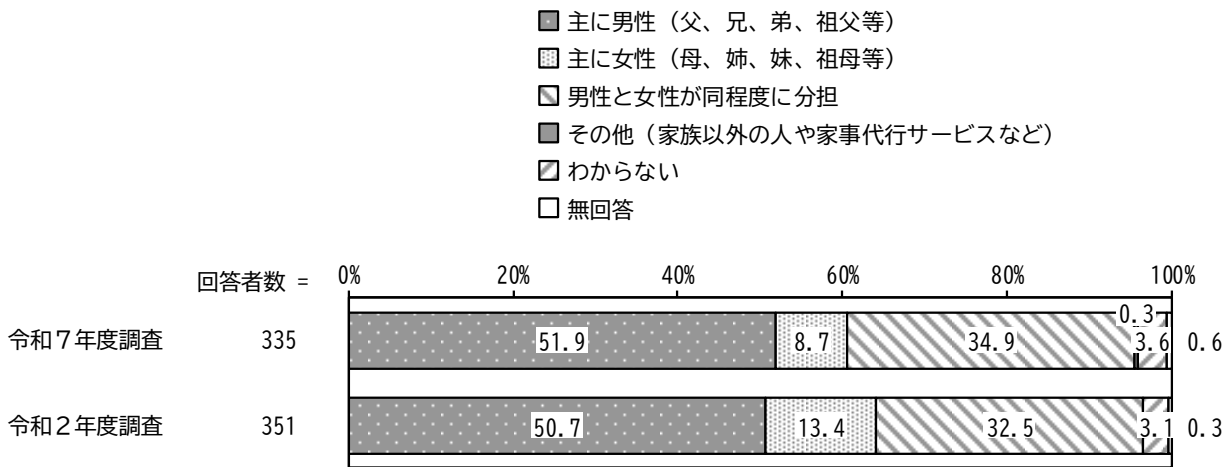
性別にみると、大きな差はみられません。



⑧生活費をかせること

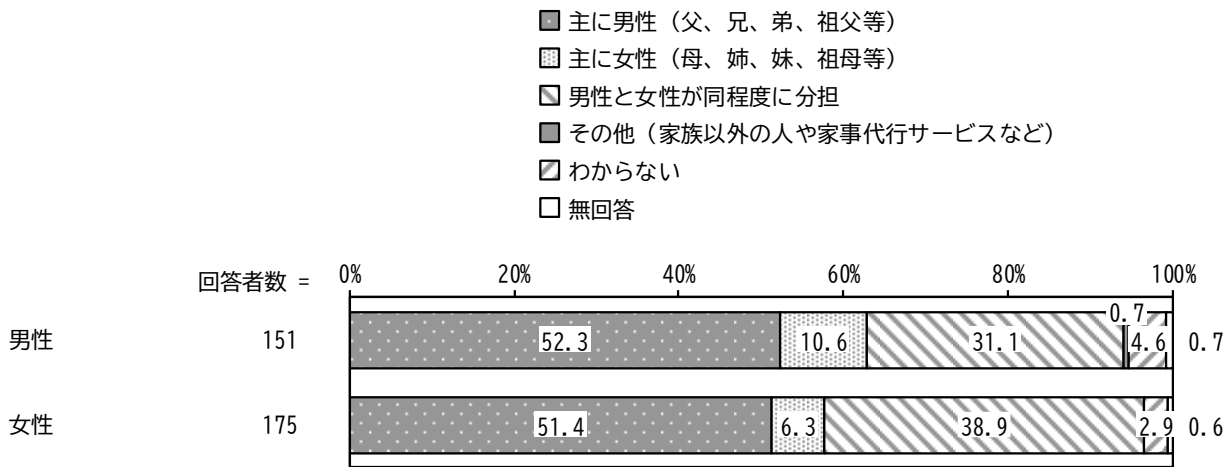
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「主に女性 (母、姉、妹、祖母等)」の割合は、令和2年度調査が 13.4% であるのに対し、令和7年度調査が 8.7% と、4.7 ポイント減少しています。



【性別】

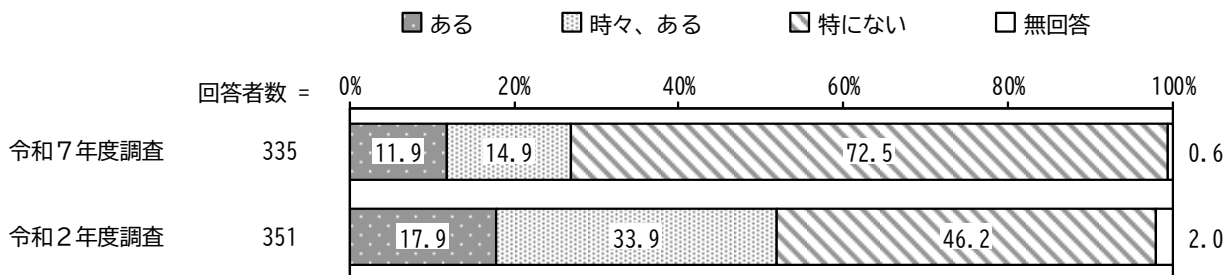
性別にみると、「男性と女性が同程度に分担」の割合は、男性が31.1%、女性が38.9%と、女性の方が7.8ポイント多くなっています。



問8 あなたは、学校生活の中で、男性と女性では役割に違いがあると感じることがありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が11.9%、「時々、ある」の割合が14.9%となっています。

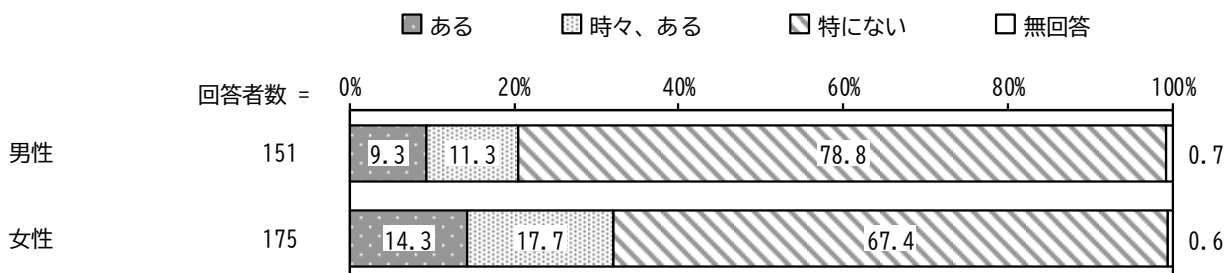
令和2年度調査と比較すると、「時々、ある」の割合は、令和2年度調査が33.9%であるのに対し、令和7年度調査が14.9%と、19ポイント減少しています。



※令和2年度調査では、「ある」が「感じることもある」、「時々、ある」が「時々、感じることもある」、「特にない」が「感じることはない」となっていました。

【性別】

性別にみると、「時々、ある」の割合は、男性が11.3%、女性が17.7%と、女性の方が6.4ポイント多くなっています。



問8—1 問8で、「ある」「時々、ある」に○をつけた方にお聞きします。
そう感じたのはどのような時ですか。具体的な場面があれば、それも教えてください。

【回答数内訳】

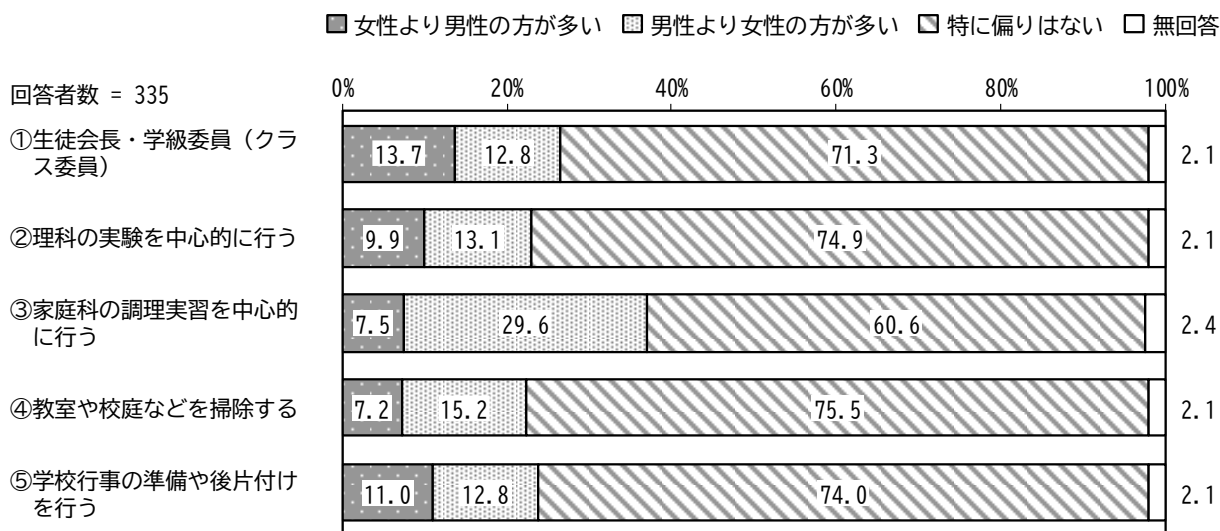
(件)

カテゴリ名	合計
力仕事は男性がすべきという考えについて	19
男女の役割分担について	16
その他	3
合計	38

※1人の回答につき、複数の項目にわたる意見がある場合はそれぞれの項目で計上している。

問9 (ア) あなたの学校やクラスでは、次の項目は男性と女性どちらがその役割を担うことが多いですか。(それぞれの項目について数字に○を1つずつ)

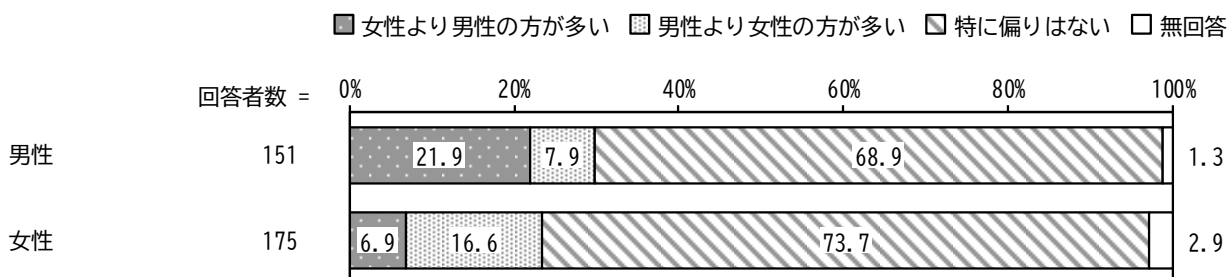
『①生徒会長・学級委員(クラス委員)』で「女性より男性の方が多い」、『③家庭科の調理実習を中心的に行う』で「男性より女性の方が多い」、『④教室や校庭などを掃除する』で「特に偏りはない」が高くなっています。



①生徒会長・学級委員(クラス委員)

【性別】

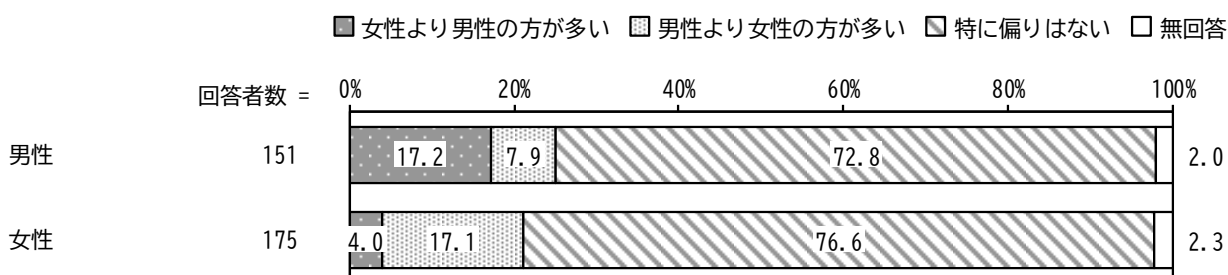
性別にみると、「女性より男性の方が多い」の割合は、男性が21.9%、女性が6.9%と、男性の方が15ポイント多く、「男性より女性の方が多い」の割合は、男性が7.9%、女性が16.6%と、女性の方が8.7ポイント多くなっています。



②理科の実験を中心的に行う

【性別】

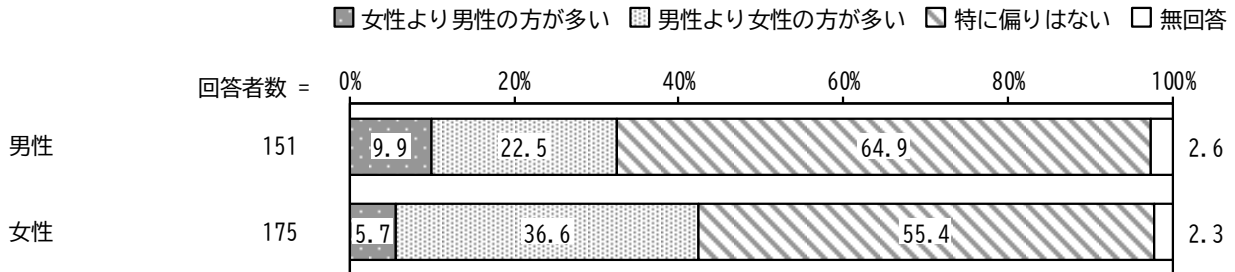
性別にみると、「女性より男性の方が多い」の割合は、男性が17.2%、女性が4.0%と、男性の方が13.2ポイント多く、「男性より女性の方が多い」の割合は、男性が7.9%、女性が17.1%と、女性の方が9.2ポイント多くなっています。



③家庭科の調理実習を中心的に行う

【性別】

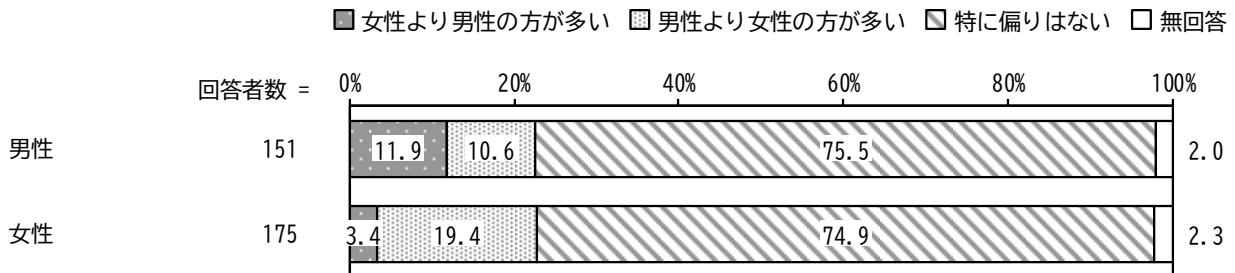
性別にみると、「特に偏りはない」の割合は、男性が 64.9%、女性が 55.4%と、男性の方が 9.5 ポイント多く、「男性より女性の方が多い」の割合は、男性が 22.5%、女性が 36.6%と、女性の方が 14.1 ポイント多くなっています。



④教室や校庭などを掃除する

【性別】

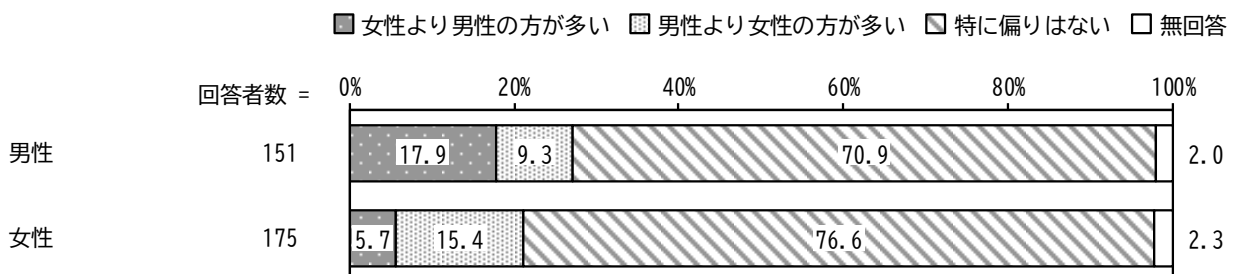
性別にみると、「女性より男性の方が多い」の割合は、男性が 11.9%、女性が 3.4%と、男性の方が 8.5 ポイント多く、「男性より女性の方が多い」の割合は、男性が 10.6%、女性が 19.4%と、女性の方が 8.8 ポイント多くなっています。



⑤学校行事の準備や後片付けを行う

【性別】

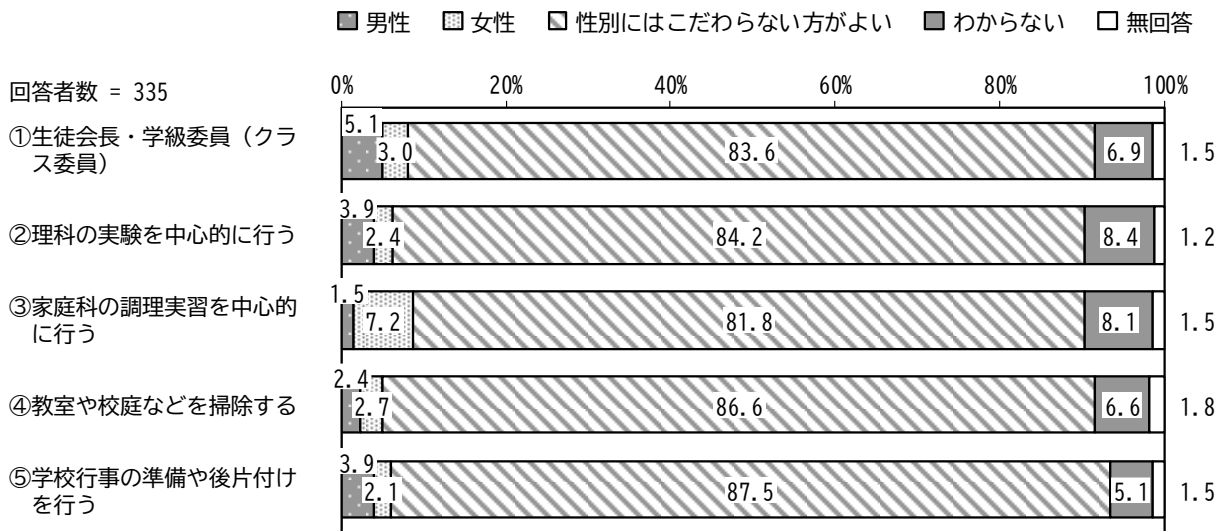
性別にみると、「女性より男性の方が多い」の割合は、男性が 17.9%、女性が 5.7%と、男性の方が 12.2 ポイント多く、「男性より女性の方が多い」の割合は、男性が 9.3%、女性が 15.4%と、女性の方が 6.1 ポイント、「特に偏りはない」の割合は、男性が 70.9%、女性が 76.6%と、女性の方が 5.7 ポイント多くなっています。



問9 (イ) あなたは、男性と女性のどちらがその役割を担うべきだと思いますか。
(それぞれの項目についてアルファベットに○を1つずつ)

①生徒会長・学級委員 (クラス委員)

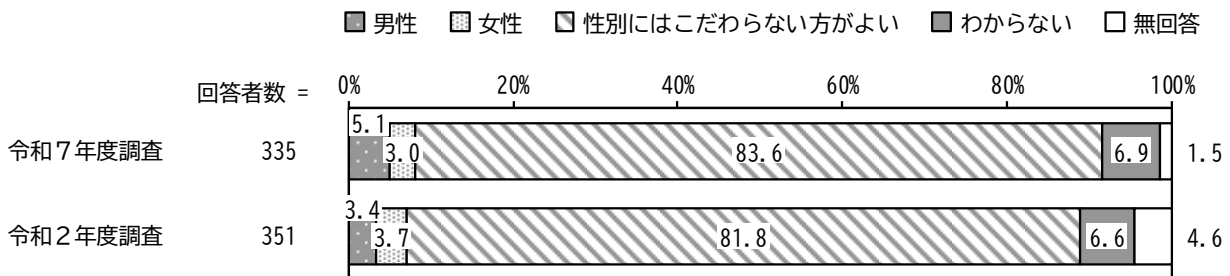
『①生徒会長・学級委員 (クラス委員)』で「男性」、『③家庭科の調理実習を中心的に行う』で「女性」、『⑤学校行事の準備や後片付けを行う』で「性別にはこだわらない方がよい」が高くなっています。



①生徒会長・学級委員 (クラス委員)

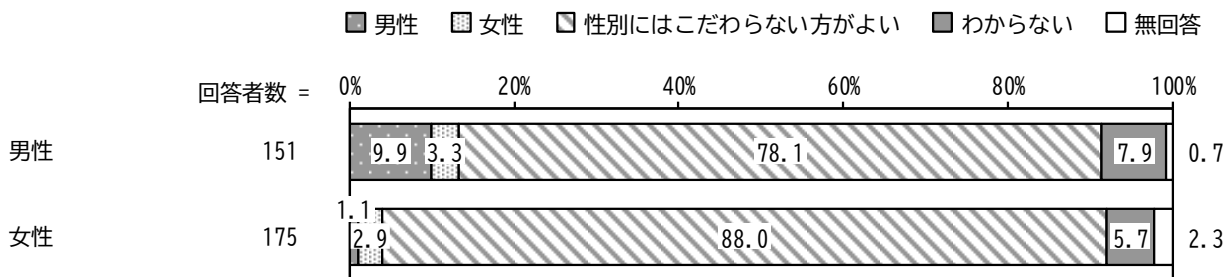
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

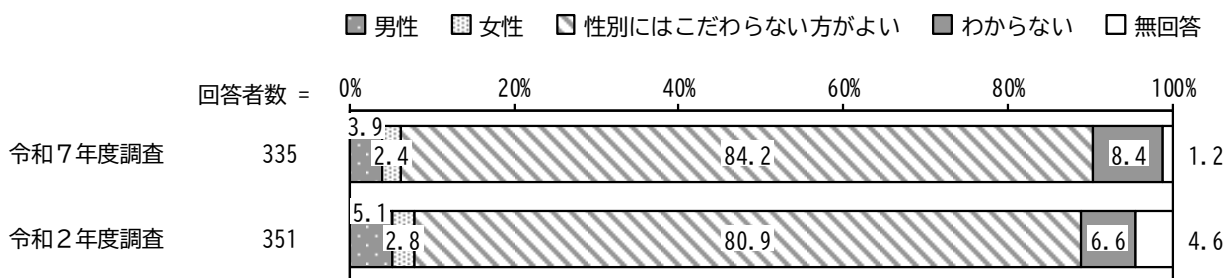
性別にみると、「男性」の割合は、男性が9.9%、女性が1.1%と、男性の方が8.8ポイント多く、「性別にはこだわらない方がよい」の割合は、男性が78.1%、女性が88.0%と、女性の方が9.9ポイント多くなっています。



②理科の実験を中心的に行う

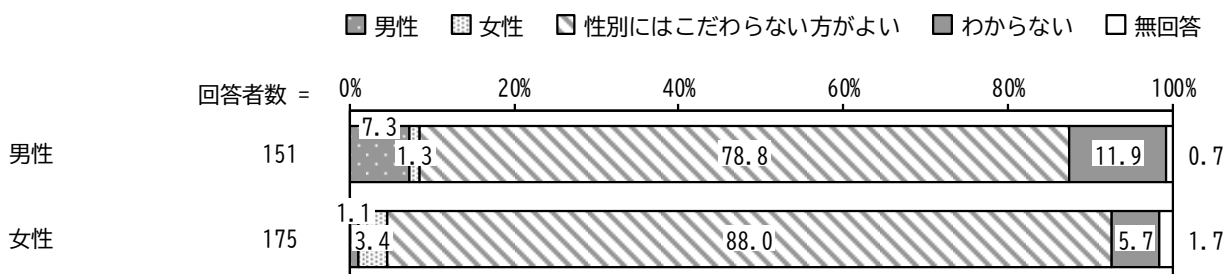
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「性別にはこだわらない方がよい」の割合は、令和2年度調査が80.9%であるのに対し、令和7年度調査が84.2%と、3.3ポイント増加しています。



【性別】

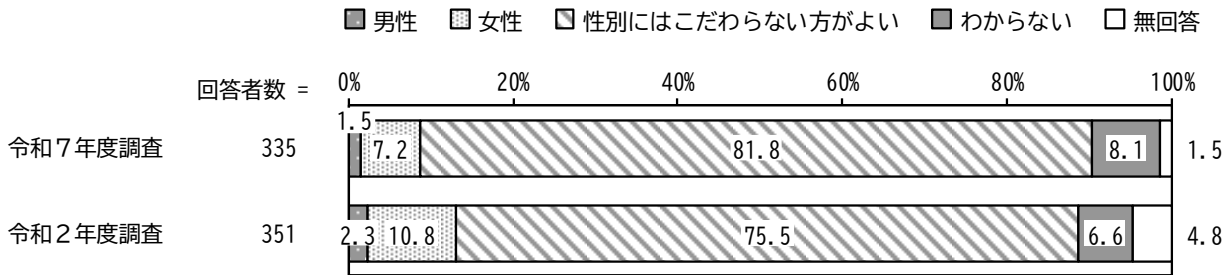
性別にみると、「男性」の割合は、男性が7.3%、女性が1.1%と、男性の方が6.2ポイント多く、「性別にはこだわらない方がよい」の割合は、男性が78.8%、女性が88%と、女性の方が9.2ポイント多くなっています。



③家庭科の調理実習を中心的に行う

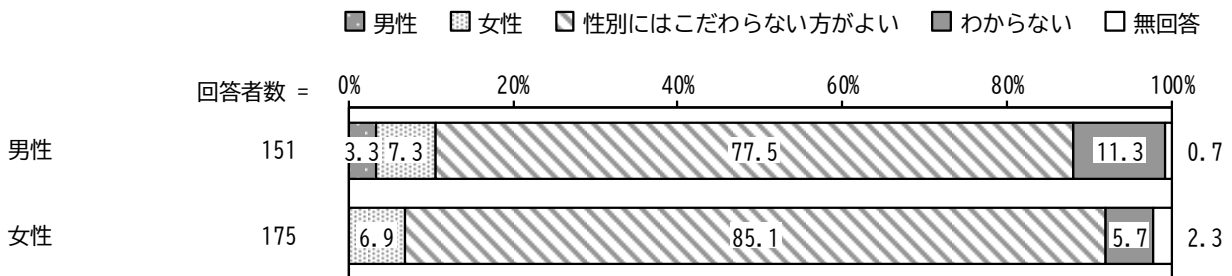
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「性別にはこだわらない方がよい」の割合は、令和2年度調査が75.5%であるのに対し、令和7年度調査が81.8%と、6.3ポイント増加しています。



【性別】

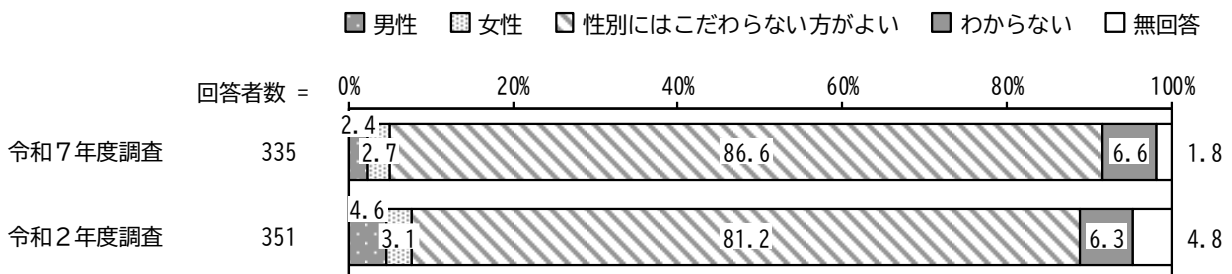
性別にみると、「性別にはこだわらない方がよい」の割合は、男性が77.5%、女性が85.1%と、女性の方が7.6ポイント多くなっています。



④教室や校庭などを掃除する

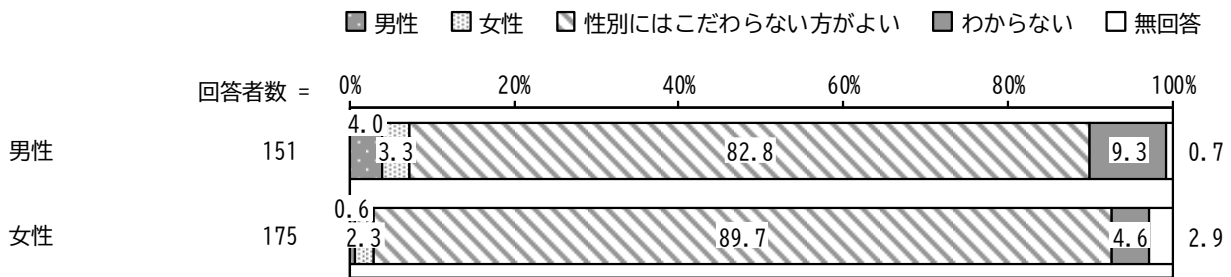
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「性別にはこだわらない方がよい」の割合は、令和2年度調査が81.2%であるのに対し、令和7年度調査が86.6%と、5.4ポイント増加しています。



【性別】

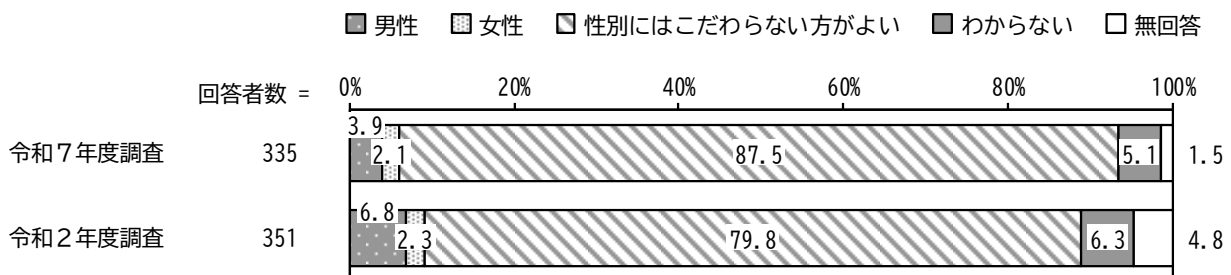
性別にみると、「性別にはこだわらない方がよい」の割合は、男性が82.8%、女性が89.7%と、女性の方が6.9ポイント多くなっています。



⑤学校行事の準備や後片付けを行う

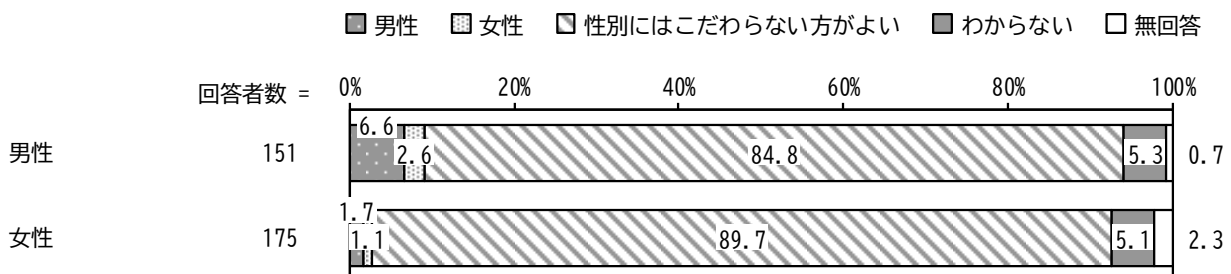
【経年比較】

令和2年度調査と比較すると、「性別にはこだわらない方がよい」の割合は、令和2年度調査が79.8%であるのに対し、令和7年度調査が87.5%と、7.7ポイント増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

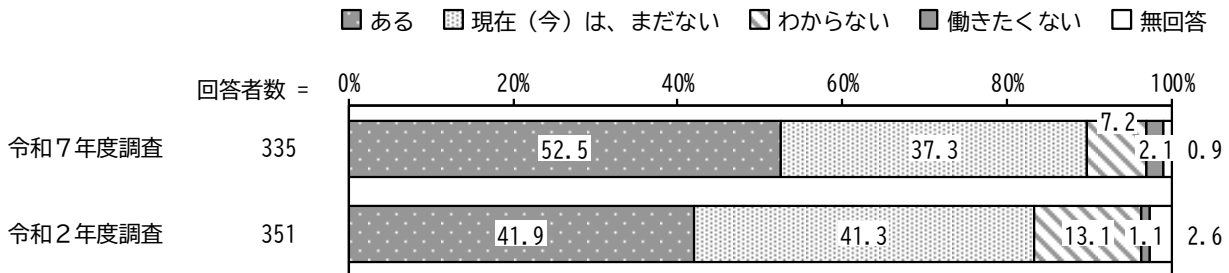


(3) 将来について

問10 あなたは、将来なりたいと思う職業はありますか。(〇は1つ)

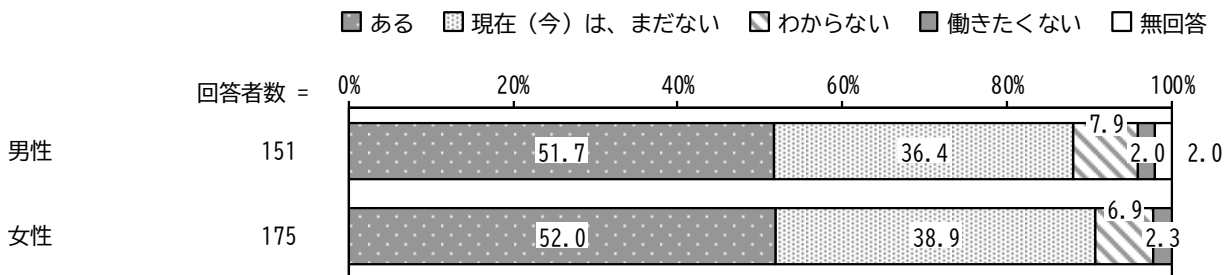
「ある」の割合が52.5%、「現在(今)は、まだない」の割合が37.3%、「働きたくない」の割合が2.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「ある」の割合は、令和2年度調査が41.9%であるのに対し、令和7年度調査が52.5%と、10.6ポイント増加しています。



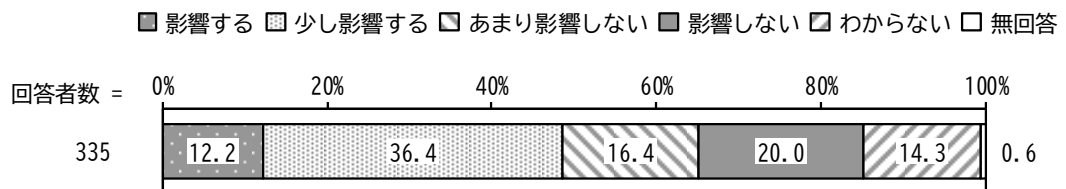
【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。



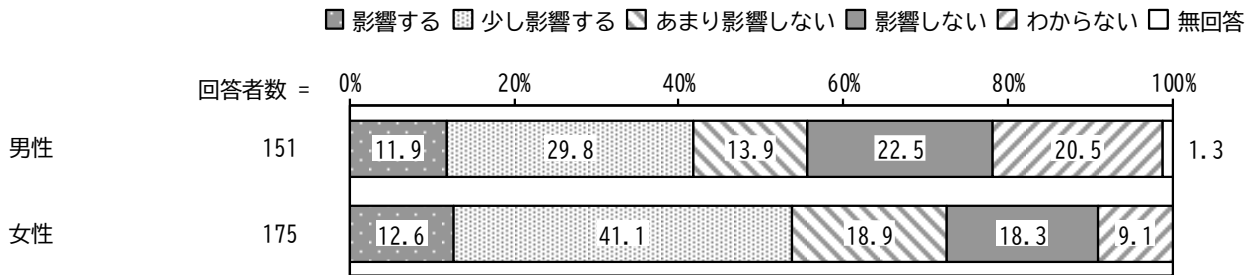
問11 将来なりたい職業を実現する上で、「男性であること」もしくは「女性であること」といった性別が影響すると思いますか。(〇は1つ)

「影響する」「少し影響する」を合わせた“影響する”の割合が48.6%、「あまり影響しない」「影響しない」を合わせた“影響しない”の割合が36.4%となっています。



【性別】

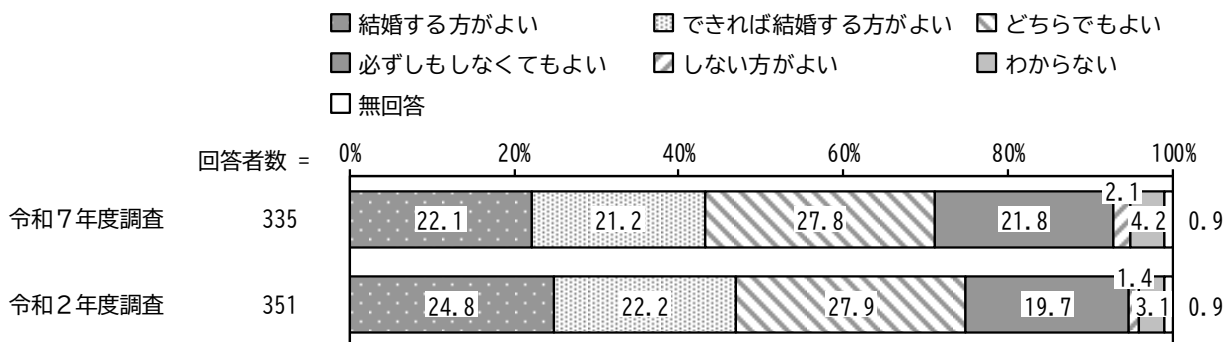
性別にみると、「影響する」の割合は、男性が41.7%、女性が53.7%と、女性の方が12ポイント多くなっています。



問12 あなたは、結婚についてどのように思いますか。(○は1つ)

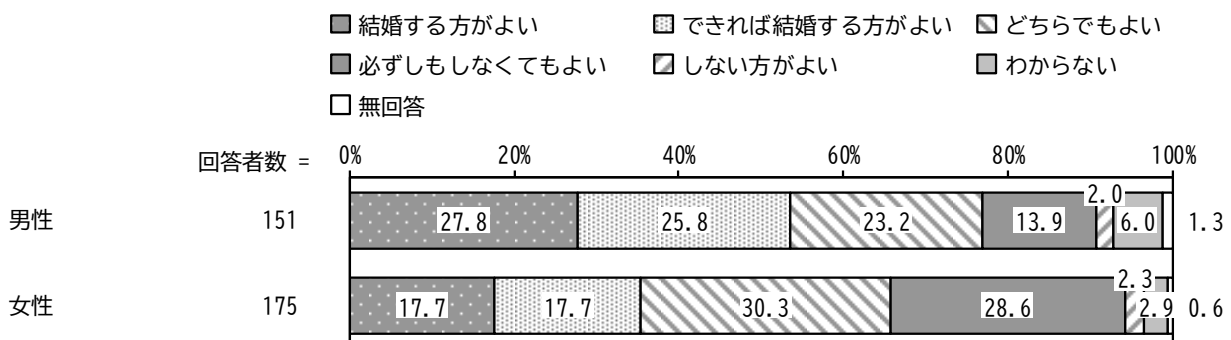
「どちらでもよい」の割合が27.8%と最も高く、次いで「結婚する方がよい」の割合が22.1%、「必ずしもしなくてもよい」の割合が21.8%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

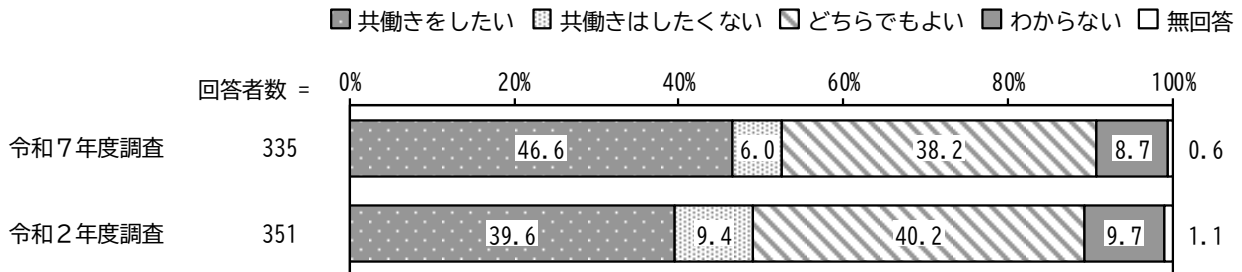
性別にみると、「結婚する方がよい」の割合は、男性が27.8%、女性が17.7%と、男性の方が10.1ポイント、「できれば結婚する方がよい」の割合は、男性が25.8%、女性が17.7%と、男性の方が8.1ポイント多く、「どちらでもよい」の割合は、男性が23.2%、女性が30.3%と、女性の方が7.1ポイント、「必ずしもしなくてもよい」の割合は、男性が23.2%、女性が30.3%と、女性の方が14.7ポイント多くなっています。



問13 あなたは、結婚したら夫婦で共働きをしたいと思いますか。(○は1つ)

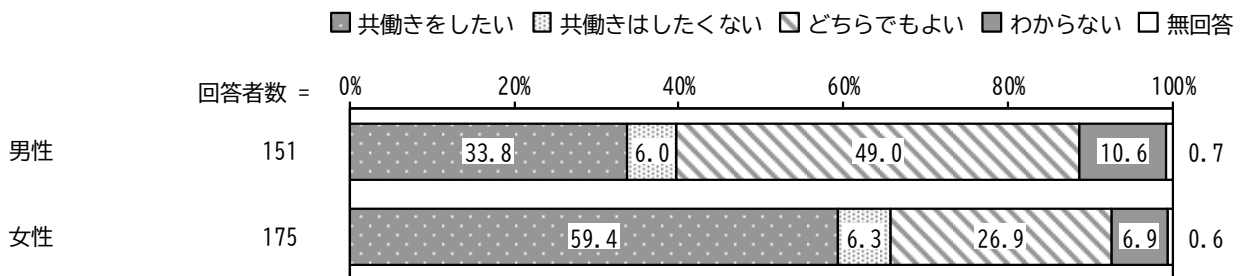
「共働きをしたい」の割合が46.6%、「共働きはしたくない」の割合が6.0%、「どちらでもよい」の割合が38.2%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「共働きをしたい」の割合は、令和2年度調査が39.6%であるのに対し、令和7年度調査が46.6%と、7ポイント増加しています。



【性別】

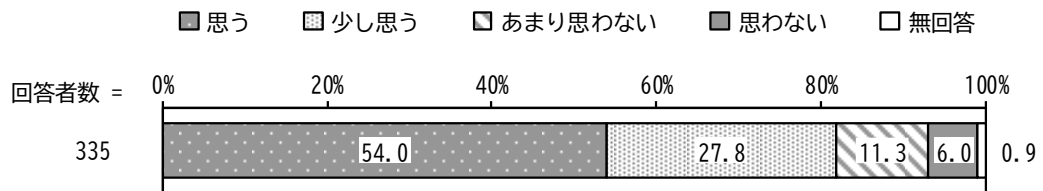
性別にみると、「どちらでもよい」の割合は、男性が49.0%、女性が26.9%と、男性の方が22.1ポイント多く、「共働きをしたい」の割合は、男性が33.8%、女性が59.4%と、女性の方が25.6ポイント多くなっています。



(4) DV（ドメスティック・バイオレンス）や人権について

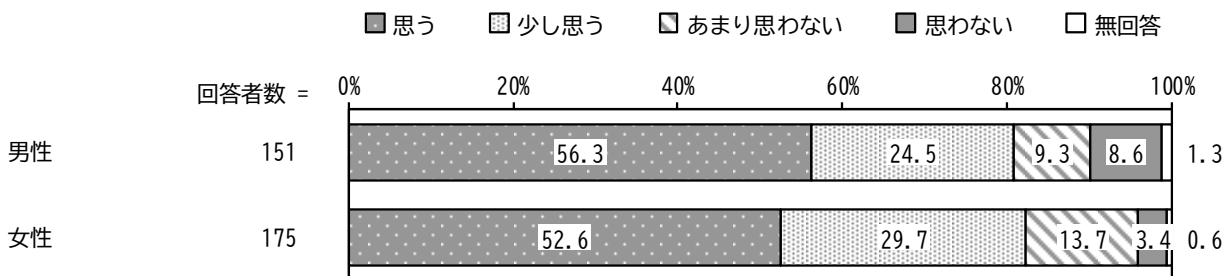
問 14 DV（配偶者や親密な間柄での暴力）被害や児童・高齢者虐待、いじめなど、人権を侵害する行為が社会問題となっています。あなたのまわりでは、人権が尊重されている社会であると思いますか。（○は1つ）

「思う」「少し思う」を合わせた“思う”の割合が81.8%、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が17.3%となっています。



【性別】

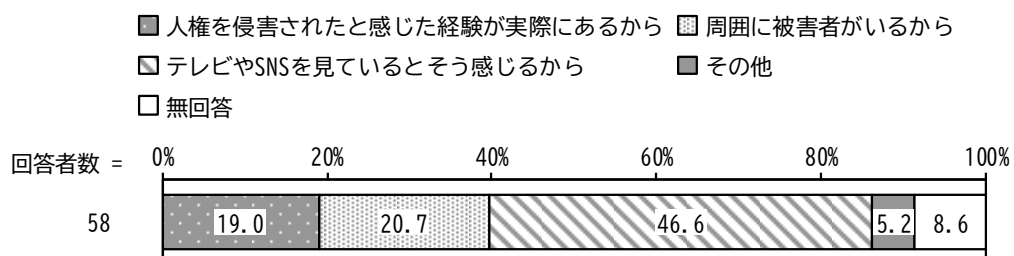
性別にみると、「思わない」の割合は、男性が8.6%、女性が3.4%と、男性の方が、「少し思う」の割合は、男性が24.5%、女性が29.7%と、女性の方が5.2ポイント多くなっています。



上記の設問で、「あまり思わない」、または「思わない」を選択した方にお聞きします。

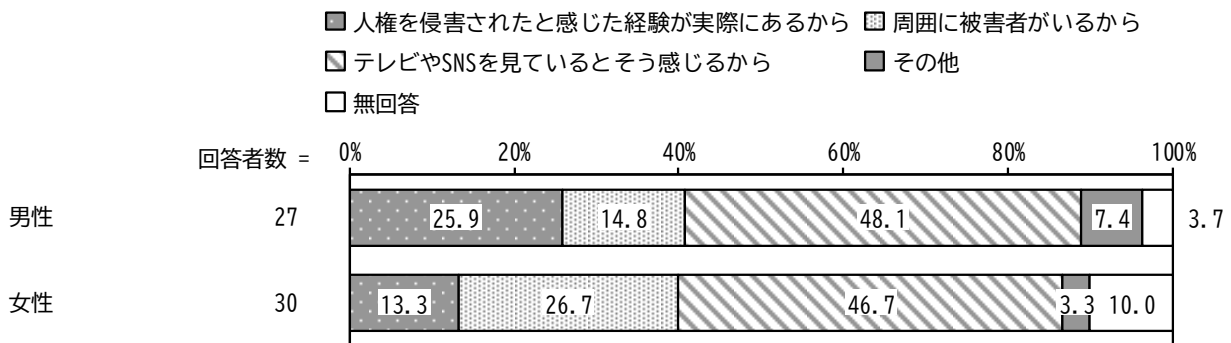
付問 14-1 人権が尊重されていないと感じる理由は何ですか。（○は1つ）

「人権を侵害されたと感じた経験が実際にあるから」の割合が19.0%、「周囲に被害者がいるから」の割合が20.7%、「テレビやSNSを見ているとそう感じるから」の割合が46.6%となっています。



【性別】

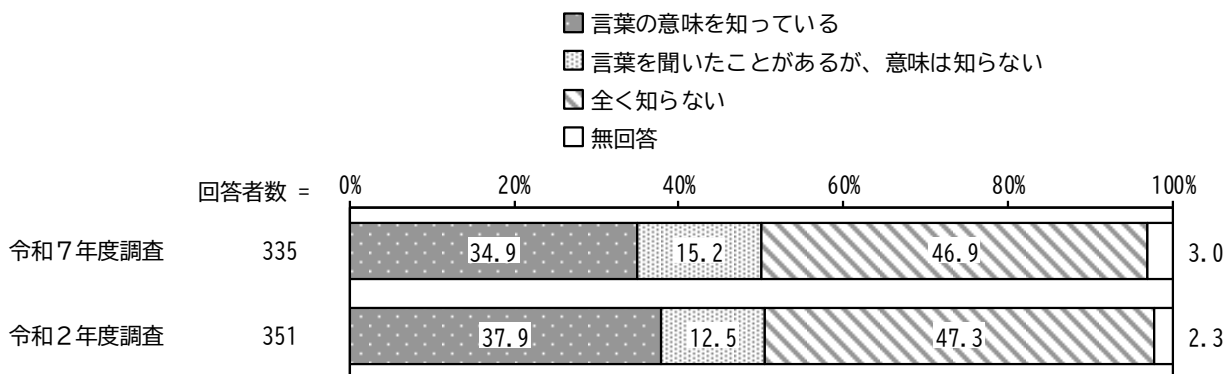
性別にみると、「人権を侵害されたと感じた経験が実際にあるから」の割合は、男性が25.9%、女性が13.3%と、男性の方が12.6ポイント多く、「周囲に被害者がいるから」の割合は、男性が14.8%、女性が26.7%と、女性の方が11.9ポイント多くなっています。



問15 あなたは「デートDV」という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

「言葉の意味を知っている」の割合が34.9%、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」の割合が15.2%、「全く知らない」の割合が46.9%となっています。

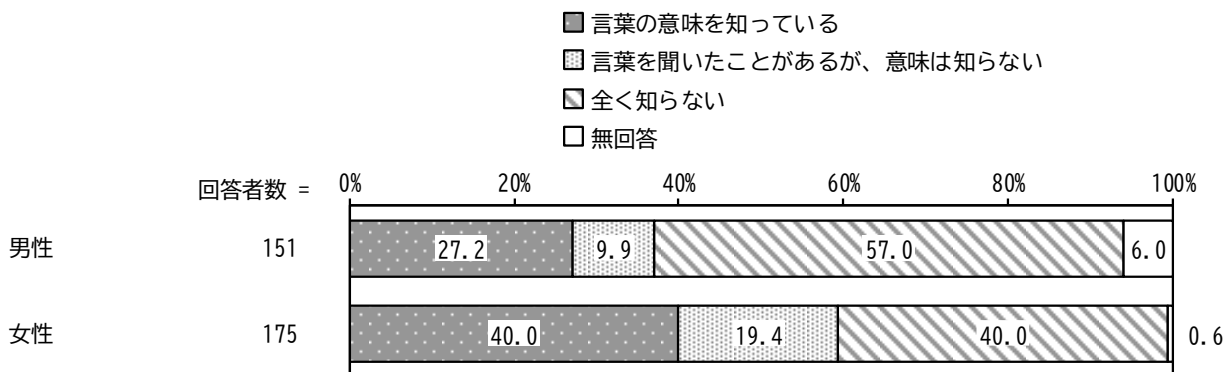
令和2年度調査と比較すると、「言葉の意味を知っている」の割合は、令和2年度調査が37.9%であるのに対し、令和7年度調査が34.9%と、3ポイント減少しています。



※令和2年度調査では、「言葉の意味を知っている」が「意味を知っている」、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」が「聞いたことはあるが、意味は知らない」、「全く知らない」が「聞いたことがない」となっていました。

【性別】

性別にみると、「全く知らない」の割合は、男性が57.0%、女性が40.0%と、男性の方が17ポイント多く、「言葉の意味を知っている」の割合は、男性が27.2%、女性が40.0%と、女性の方が12.8ポイント、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」の割合は、男性が9.9%、女性が19.4%と、女性の方が9.5ポイント多くなっています。

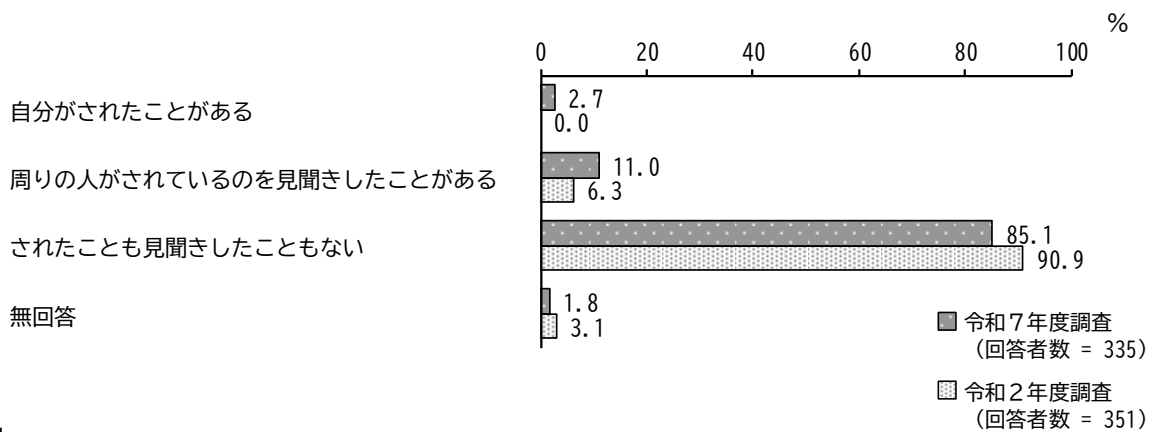


問16 あなたは、恋人の間で起こる次の項目①～⑧のような行為をされたことや見聞きしたことはありますか。(それぞれの項目について○は2つまで)

①たたく、ける、髪を引っ張る、物を投げつける

「自分がされたことがある」の割合が2.7%、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合が11.0%、「されたことも見聞きしたこともない」の割合が85.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「されたことも見聞きしたこともない」の割合は、令和2年度調査が90.9%であるのに対し、令和7年度調査が85.1%と、5.8ポイント減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

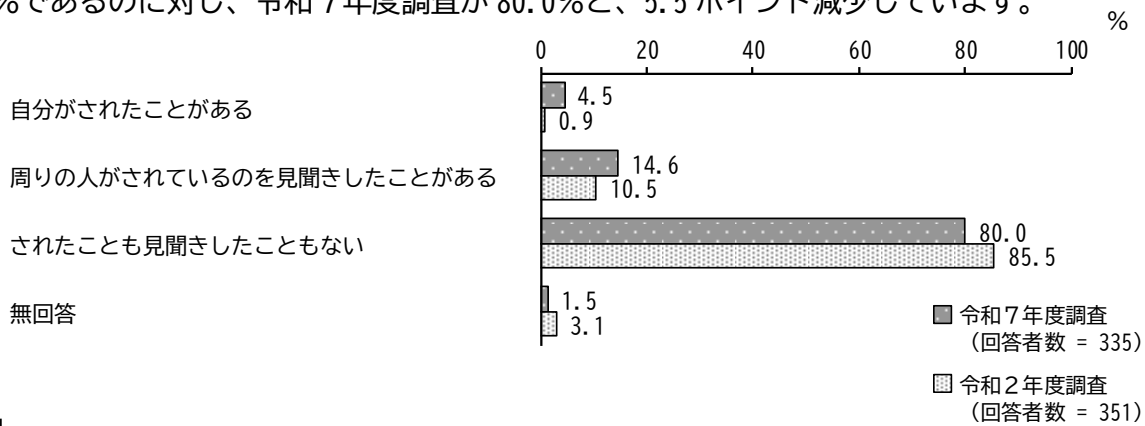
単位：%

区分	回答者数(件)	自分がされたことがある	周りの人がされているのを見聞きしたことがある	されたことも見聞きしたこともない	無回答
全体	335	2.7	11.0	85.1	1.8
男性	151	2.6	11.3	84.1	2.6
女性	175	2.9	10.9	85.7	1.1

②大声でどなる、おどす

「自分がされたことがある」の割合が 4.5%、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合が 14.6%、「されたことも見聞きしたこともない」の割合が 80.0%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「されたことも見聞きしたこともない」の割合は、令和2年度調査が 85.5%であるのに対し、令和7年度調査が 80.0%と、5.5ポイント減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

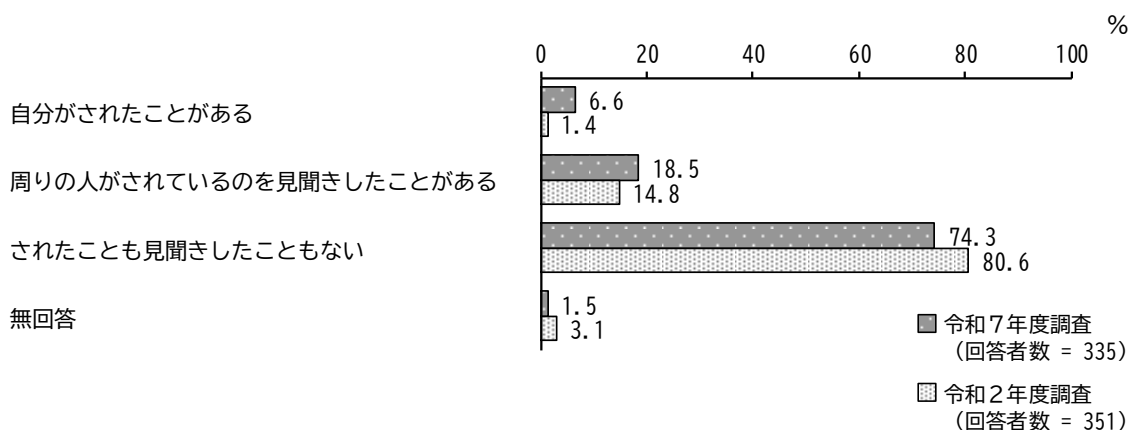
単位：%

区分	回答者数 (件)	自分がされたことがある	周りの人がされているのを見聞きしたことがある	されたことも見聞きしたこともない	無回答
全体	335	4.5	14.6	80.0	1.5
男性	151	5.3	13.2	80.1	2.0
女性	175	4.0	15.4	80.0	1.1

③馬鹿にしたり、傷つく言葉を言う

「自分がされたことがある」の割合が 6.6%、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合が 18.5%、「されたことも見聞きしたこともない」の割合が 74.3%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「自分がされたことがある」の割合は、令和2年度調査が 1.4%であるのに対し、令和7年度調査が 6.6%と、5.2ポイント増加しています。一方、「されたことも見聞きしたこともない」の割合は、令和2年度調査が 80.6%であるのに対し、令和7年度調査が 74.3%と、6.3ポイント減少しています。



【性別】

性別にみると、「されたことも見聞きしたこともない」の割合は、男性が78.8%、女性が69.7%と、男性の方が9.1ポイント多く、女性で「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合は、男性が15.2%、女性が21.7%と、女性の方が6.5ポイント多くなっています。

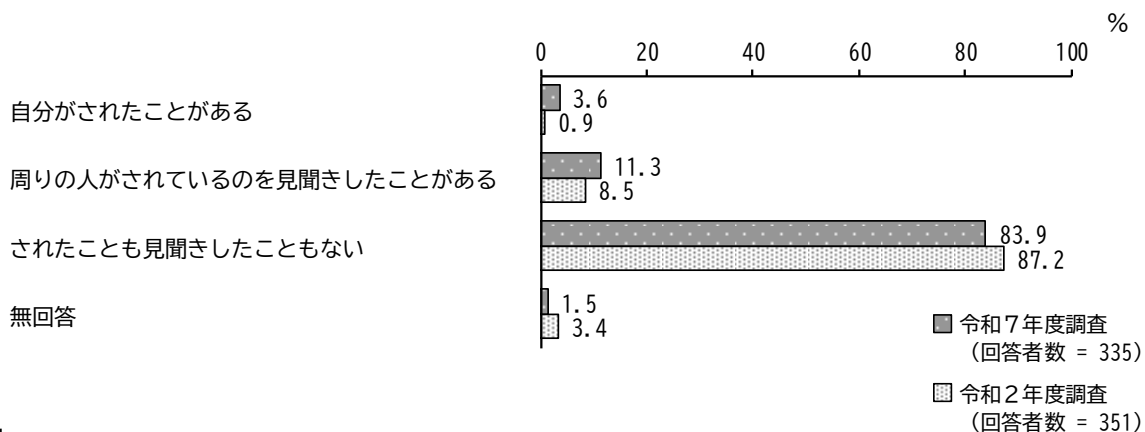
単位：％

区分	回答者数 (件)	自分がされたこと がある	周りの人がされて いるのを見聞きし たことがある	されたことも見聞 きしたこともない	無回答
全 体	335	6.6	18.5	74.3	1.5
男性	151	4.6	15.2	78.8	2.0
女性	175	8.6	21.7	69.7	1.1

④無視し続ける

「自分がされたことがある」の割合が3.6%、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合が11.3%、「されたことも見聞きしたこともない」の割合が83.9%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「されたことも見聞きしたこともない」の割合は、令和2年度調査が87.2%であるのに対し、令和7年度調査が83.9%と、3.3ポイント減少しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

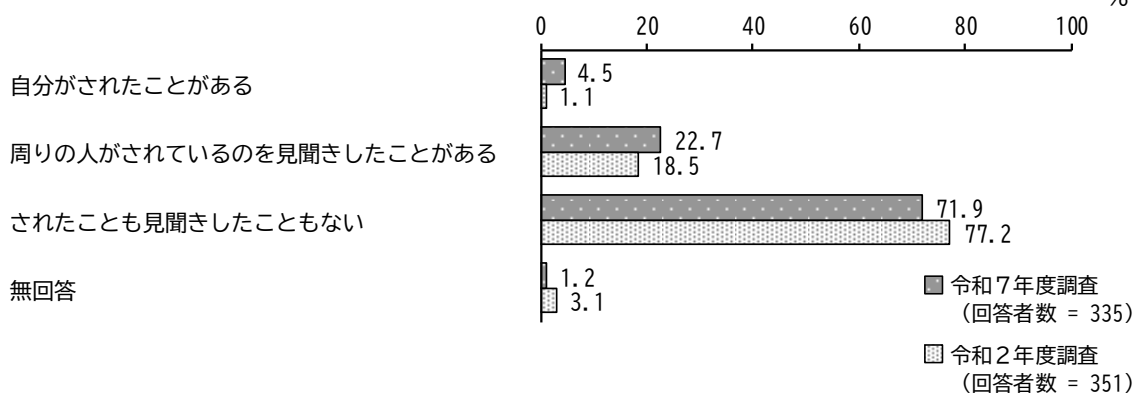
単位：％

区分	回答者数 (件)	自分がされたこと がある	周りの人がされて いるのを見聞きし たことがある	されたことも見聞 きしたこともない	無回答
全 体	335	3.6	11.3	83.9	1.5
男性	151	2.6	9.9	85.4	2.0
女性	175	4.6	12.6	82.3	1.1

⑤友人との連絡・付き合いを制限する

「自分がされたことがある」の割合が 4.5%、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合が 22.7%、「されたことも見聞きしたこともない」の割合が 71.9%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「されたことも見聞きしたこともない」の割合は、令和2年度調査が 77.2%であるのに対し、令和7年度調査が 71.9%と、5.3ポイント減少しています。



【性別】

性別にみると、「されたことも見聞きしたこともない」の割合は、男性が 80.1%、女性が 64.6%と、男性の方が 15.5ポイント多く、「自分がされたことがある」の割合は、男性が 1.3%、女性が 7.4%と、女性の方が 6.1ポイント、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合は、男性が 17.2%、女性が 27.4%と、女性の方が 10.2ポイント多くなっています。

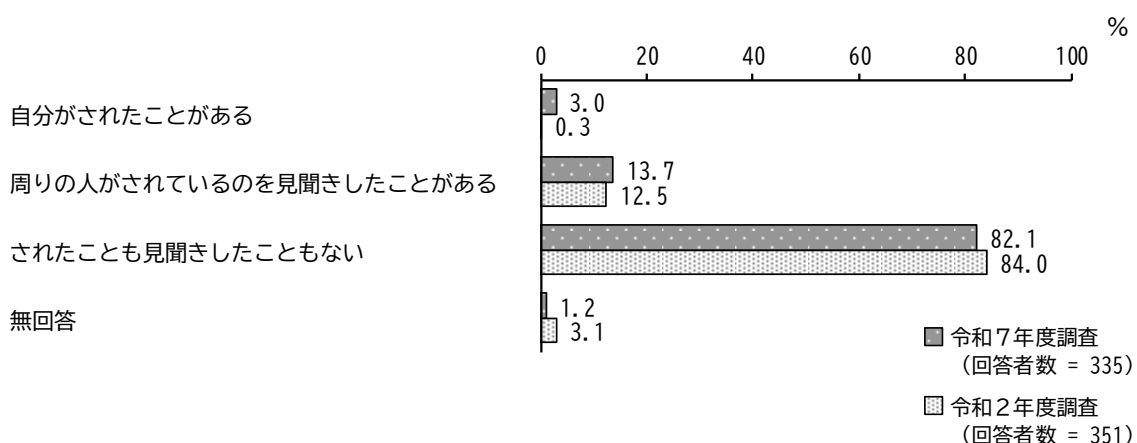
単位：%

区分	回答者数 (件)	自分がされたことがある	周りの人がされているのを見聞きしたことがある	されたことも見聞きしたこともない	無回答
全体	335	4.5	22.7	71.9	1.2
男性	151	1.3	17.2	80.1	1.3
女性	175	7.4	27.4	64.6	1.1

⑥スマホのメールや発信・着信履歴を勝手に見る

「自分がされたことがある」の割合が 3.0%、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合が 13.7%、「されたことも見聞きしたこともない」の割合が 82.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別にみると、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合は、男性が9.9%、女性が17.7%と、女性の方が7.8ポイント多くなっています。

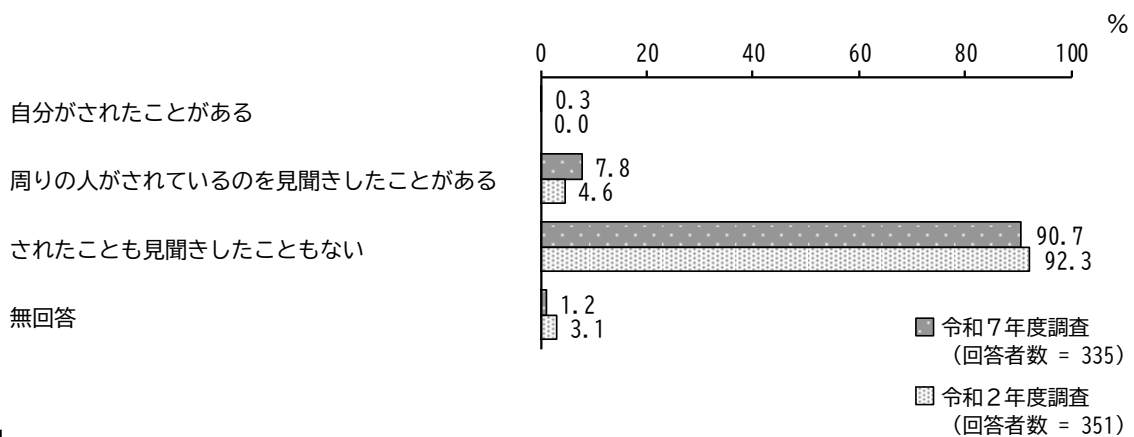
単位：%

区分	回答者数(件)	自分がされたことがある	周りの人がされているのを見聞きしたことがある	されたことも見聞きしたこともない	無回答
全体	335	3.0	13.7	82.1	1.2
男性	151	4.6	9.9	84.1	1.3
女性	175	1.7	17.7	79.4	1.1

⑦デートに必要なお金を無理に払わせる

「自分がされたことがある」の割合が0.3%、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合が7.8%、「されたことも見聞きしたこともない」の割合が90.7%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合は、令和2年度調査が4.6%であるのに対し、令和7年度調査が7.8%と、3.2ポイント増加しています。



【性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

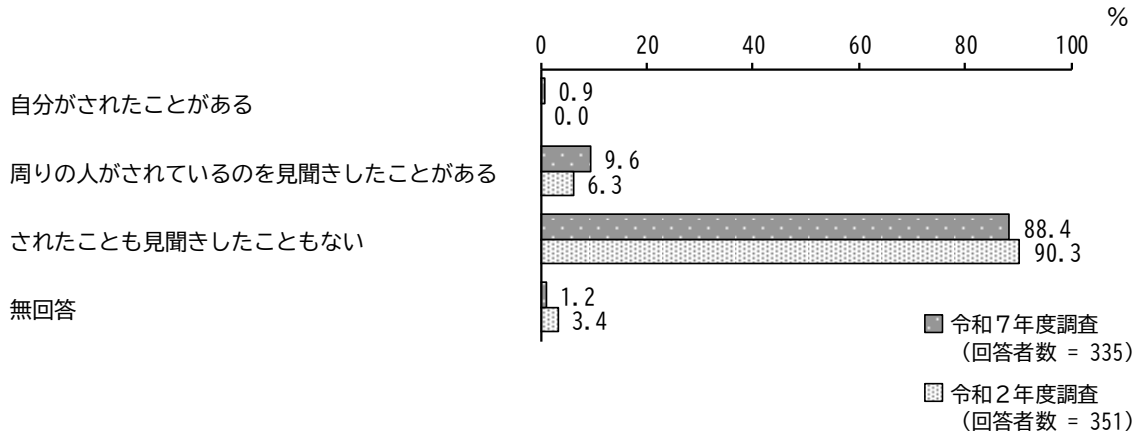
単位：%

区分	回答者数(件)	自分がされたことがある	周りの人がされているのを見聞きしたことがある	されたことも見聞きしたこともない	無回答
全体	335	0.3	7.8	90.7	1.2
男性	151	0.0	7.9	90.7	1.3
女性	175	0.6	8.0	90.3	1.1

⑧いやがっているのにキスしたり、体に触る

「自分がされたことがある」の割合が 0.9%、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合が 9.6%、「されたことも見聞きしたこともない」の割合が 88.4%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合は、令和2年度調査が 6.3%であるのに対し、令和7年度調査が 9.6%と、3.3ポイント増加しています。



【性別】

性別にみると、「されたことも見聞きしたこともない」の割合は、男性が 93.4%、女性が 83.4%と、男性の方が 10ポイント多く、「周りの人がされているのを見聞きしたことがある」の割合は、男性が 5.3%、女性が 13.7%と、女性の方が 8.4ポイント多くなっています。

単位：%

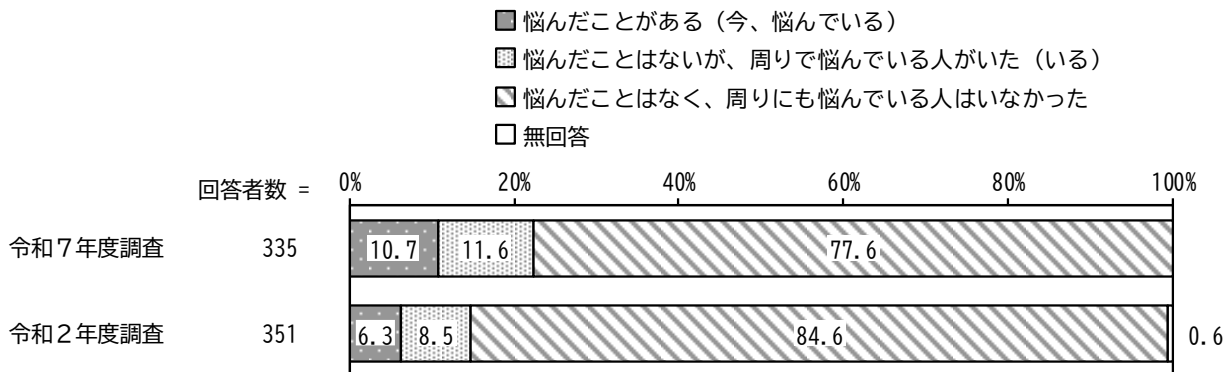
区分	回答者数 (件)	自分がされたことがある	周りの人がされているのを見聞きしたことがある	されたことも見聞きしたこともない	無回答
全体	335	0.9	9.6	88.4	1.2
男性	151	0.0	5.3	93.4	1.3
女性	175	1.7	13.7	83.4	1.1

(5) LGBTQについて

問17 あなたは、今までに、好きになる性（性的指向）や心の性（性自認）について悩んだことはありますか。また、周りの人で悩んでいる人はいますか。（○は1つ）

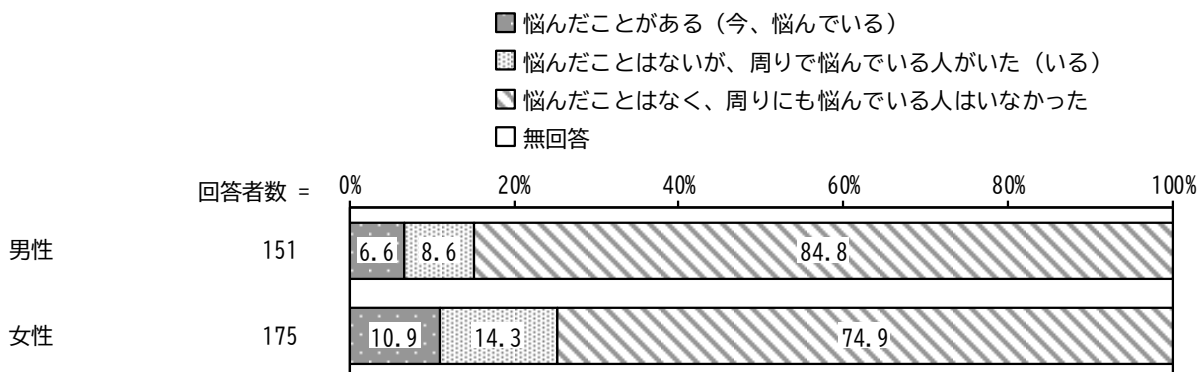
「悩んだことがある（今、悩んでいる）」の割合が 10.7%、「悩んだことはないが、周りで悩んでいる人がいた（いる）」の割合が 11.6%、「悩んだことはなく、周りにも悩んでいる人はいなかった」の割合が 77.6%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「悩んだことはなく、周りにも悩んでいる人はいなかった」の割合は、令和2年度調査が 84.6%であるのに対し、令和7年度調査が 77.6%と、7ポイント減少しています。



【性別】

性別にみると、「悩んだことはなく、周りにも悩んでいる人はいなかった」の割合は、男性が 84.8%、女性が 74.9%と、男性の方が 9.9ポイント多く、「悩んだことはないが、周りで悩んでいる人がいた（いる）」の割合は、男性が 8.6%、女性が 14.3%と、女性の方が 5.7ポイント多くなっています。

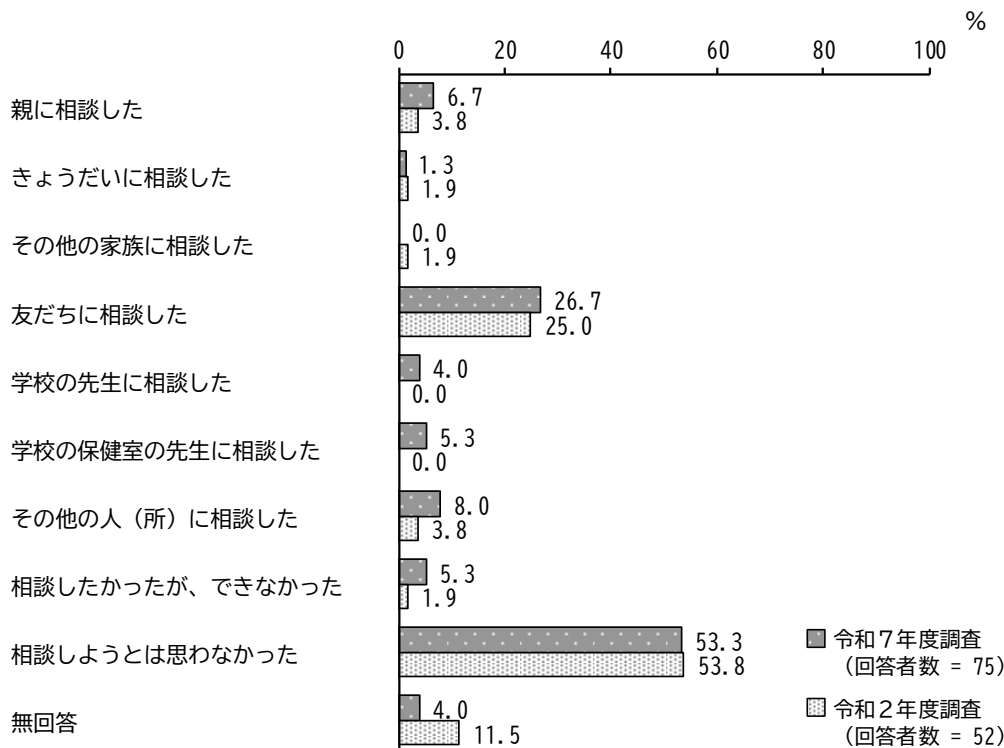


問 17で「悩んだことがある（今、悩んでいる）」「悩んだことはないが、周りで悩んでいる人がいた（いる）」を選択した方だけ回答ください。

付問 17-1 あなたは、その悩みを誰かに相談しましたか。（○はいくつでも）

「相談しようとは思わなかった」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「友だちに相談した」の割合が 26.7%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「学校の保健室の先生に相談した」の割合は、令和2年度調査が 0.0%であるのに対し、令和7年度調査が 5.3%と、5.3ポイント増加しています。



※令和2年度調査では、「きょうだいに相談した」が「兄弟姉妹に相談した」となっていました。

【性別】

性別にみると、「相談しようとは思わなかった」の割合は、男性が 65.2%、女性が 50.0%と、男性の方が 15.2ポイント多く、「親に相談した」の割合は、男性が 0.0%、女性が 6.8%と、6.8ポイント、「友だちに相談した」の割合は、男性が 21.7%、女性が 29.5%と、7.8ポイント、「相談したかったが、できなかった」の割合は、男性が 0.0%、女性が 9.1%と、9.1ポイントと、それぞれ女性の方が多くなっています。

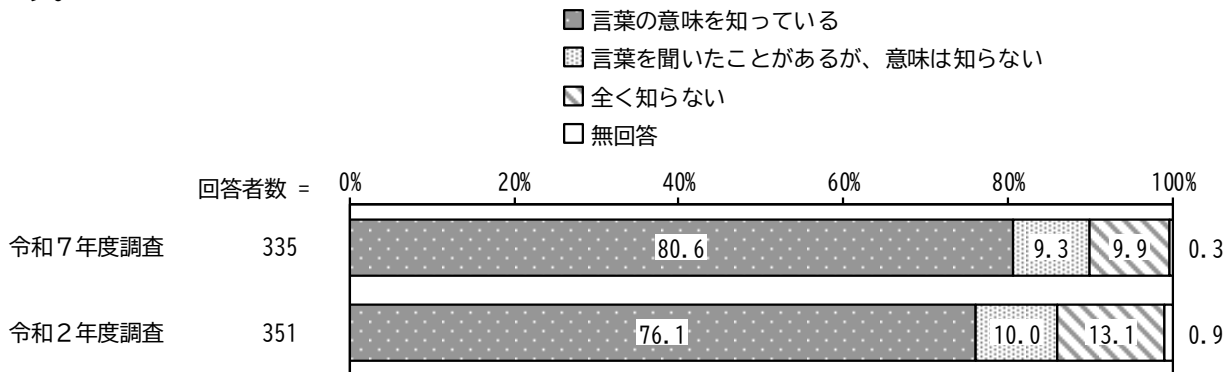
単位：%

区分	回答者数(件)	親に相談した	きょうだいに相談した	その他の家族に相談した	友だちに相談した	学校の先生に相談した	学校の保健室の先生に相談した	その他の人(所)に相談した	相談したかったが、できなかった	相談しようとは思わなかった	無回答
全体	75	6.7	1.3	0.0	26.7	4.0	5.3	8.0	5.3	53.3	4.0
男性	23	0.0	0.0	0.0	21.7	4.3	4.3	4.3	0.0	65.2	4.3
女性	44	6.8	2.3	0.0	29.5	0.0	2.3	6.8	9.1	50.0	2.3

問18 あなたは、「LGBTQ」という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

「言葉の意味を知っている」の割合が80.6%、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」の割合が9.3%、「全く知らない」の割合が9.9%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「言葉の意味を知っている」の割合は、令和2年度調査が76.1%であるのに対し、令和7年度調査が80.6%と、4.5ポイント増加しています。一方、「全く知らない」の割合は、令和2年度調査が13.1%であるのに対し、令和7年度調査が9.9%と、3.2ポイント減少しています。

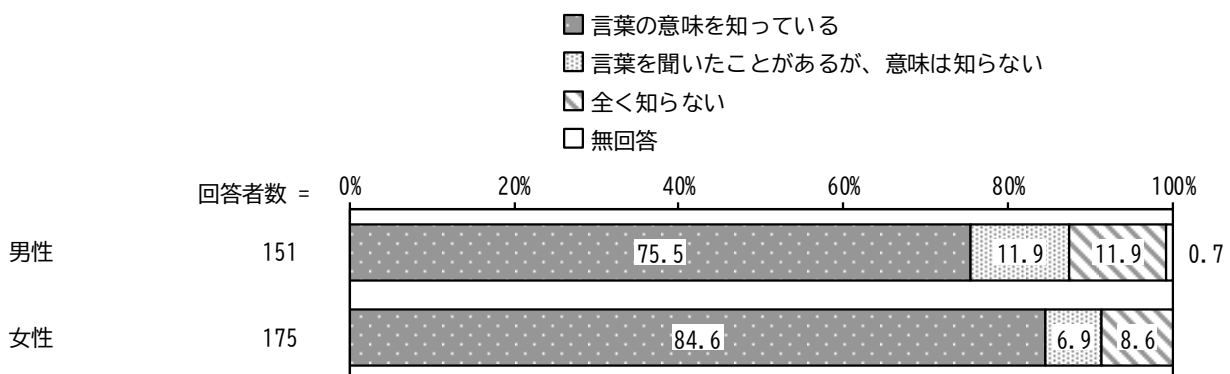


※令和2年度調査では、「あなたは、「LGBTQ」という言葉を知っていましたか。」が「あなたは、「LGBTs」という言葉を知っていましたか。」となっていました。

※令和2年度調査では、「言葉の意味を知っている」が「意味を知っている」、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」が「聞いたことはあるが、意味は知らない」、「全く知らない」が「聞いたことがない」となっていました。

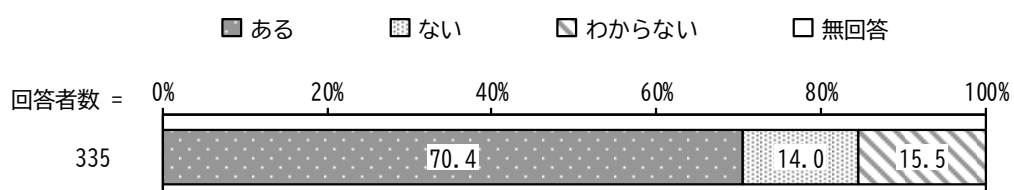
【性別】

性別にみると、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」の割合は、男性が11.9%、女性が6.9%と、男性の方が5ポイント高く、「言葉の意味を知っている」の割合は、男性が75.5%、女性が84.6%と、女性の方が9.1ポイント多くなっています。



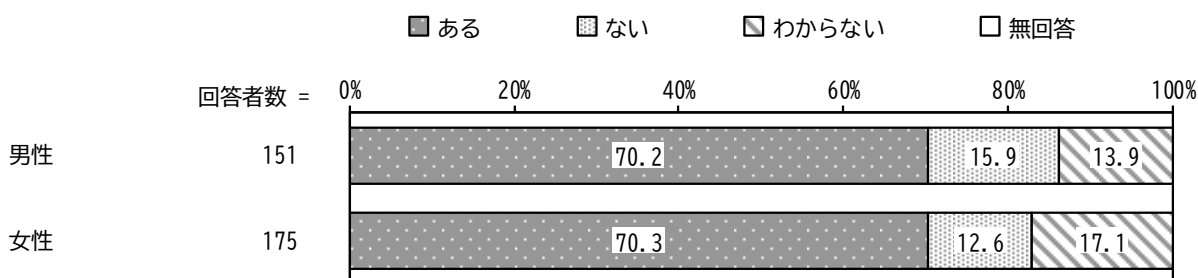
問19 あなたは、学校等でジェンダーや多様性について学ぶ授業を受けたことがありますか。(〇は1つ)

「ある」の割合が70.4%、「ない」の割合が14.0%となっています。



【性別】

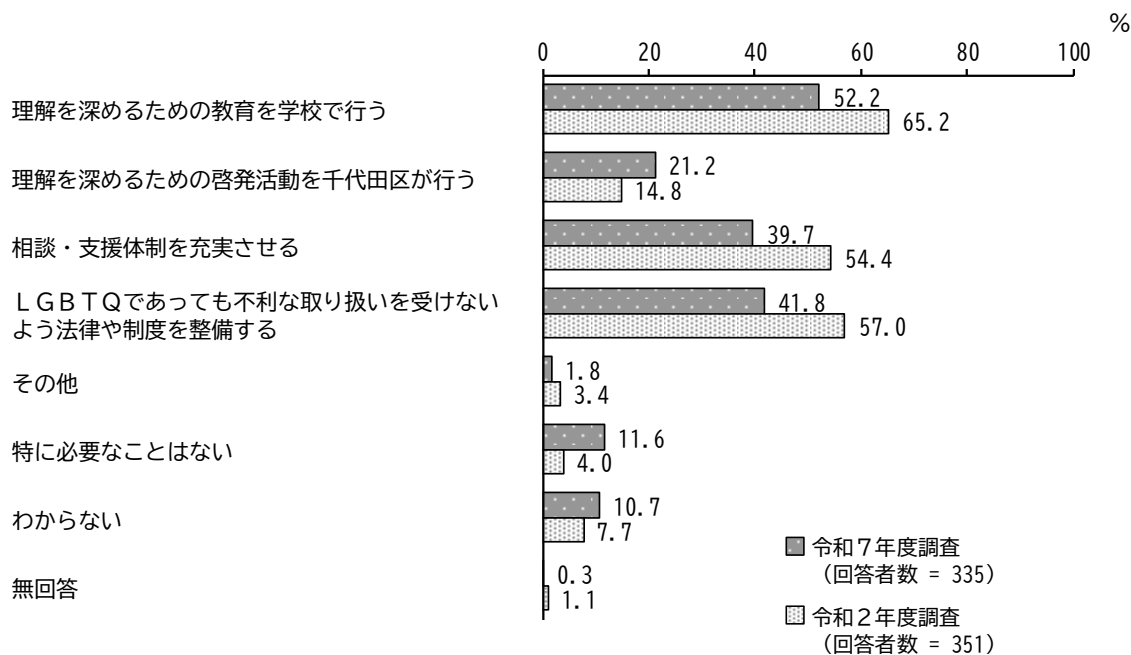
性別にみると、大きな差はみられません。



問 20 あなたは、LGBTQの方々の人権を守るために、区がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「理解を深めるための教育を学校で行う」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「LGBTQであっても不利な取り扱いを受けないよう法律や制度を整備する」の割合が 41.8%、「相談・支援体制を充実させる」の割合が 39.7%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「理解を深めるための啓発活動を千代田区が行う」の割合は、令和2年度調査が 14.8%であるのに対し、令和7年度調査が 21.2%と、6.4ポイント増加しています。一方、「理解を深めるための教育を学校で行う」の割合は、令和2年度調査が 65.2%であるのに対し、令和7年度調査が 52.2%と、13ポイント、「相談・支援体制を充実させる」の割合は、令和2年度調査が 54.4%であるのに対し、令和7年度調査が 39.7%と、14.7ポイント、「LGBTQであっても不利な取り扱いを受けないよう法律や制度を整備する」の割合は、令和2年度調査が 57.0%であるのに対し、令和7年度調査が 41.8%と、15.2ポイント減少しています。



※令和2年度調査では、「あなたは、LGBTQの方々の人権を守るために、区がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。」が「あなたは、LGBTsの方々の人権を守るために、区がどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。」となっていました。

※令和2年度調査では、「理解を深めるための教育を学校で行う」が「正しい理解を深めるための教育を学校で行う」、「理解を深めるための啓発活動を千代田区が行う」が「正しい理解を深めるための啓発活動を千代田区が行う」となっていました。

【性別】

性別にみると、「理解を深めるための教育を学校で行う」の割合は、男性が 42.4%、女性が 60.6%と、18.2 ポイント、「相談・支援体制を充実させる」の割合は、男性が 31.8%、女性が 48.0%と、16.2 ポイント、「LGBTQであっても不利な取り扱いを受けないよう法律や制度を整備する」の割合は、男性が 35.1%、女性が 46.3%と、11.2 ポイント、それぞれ女性の方が、割合が高くなっています。

単位：%

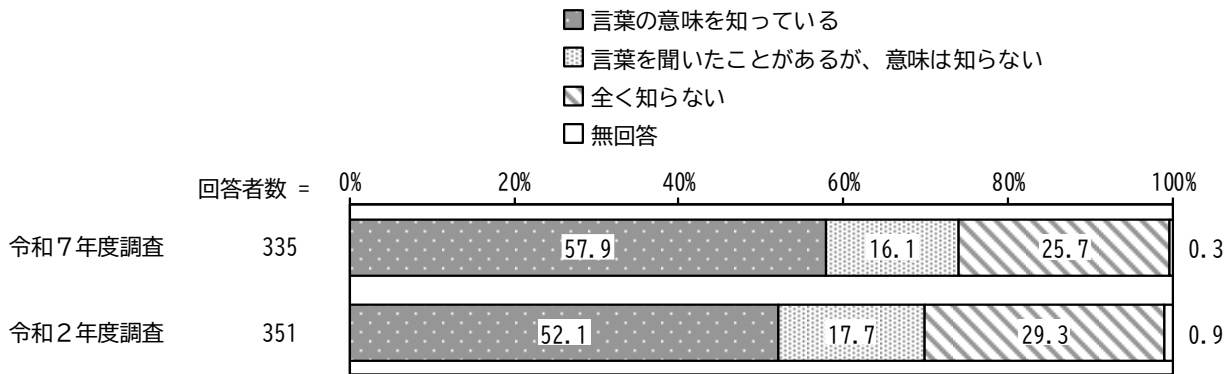
区分	回答者数(件)	理解を深めるための教育を学校で行う	理解を深めるための啓発活動を千代田区が行う	相談・支援体制を充実させる	LGBTQであっても不利な取り扱いを受けないよう法律や制度を整備する	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答
全体	335	52.2	21.2	39.7	41.8	1.8	11.6	10.7	0.3
男性	151	42.4	20.5	31.8	35.1	2.0	17.9	11.9	0.7
女性	175	60.6	22.9	48.0	46.3	0.6	5.7	9.7	0.0

(6) 男女共同参画社会の実現に向けた取組について

問 21 あなたは、「男女共同参画」という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

「言葉の意味を知っている」の割合が 57.9%、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」の割合が 16.1%、「全く知らない」の割合が 25.7%となっています。

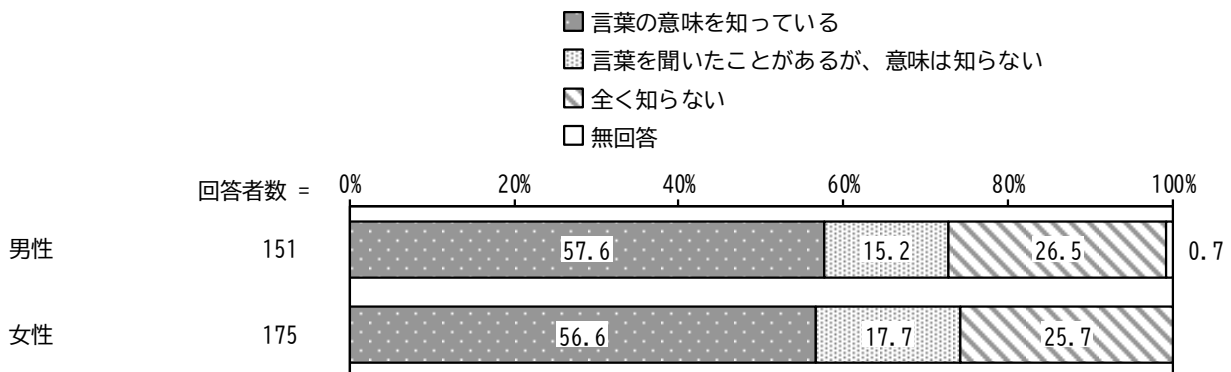
令和2年度調査と比較すると、「言葉の意味を知っている」の割合は、令和2年度調査が 52.1%であるのに対し、令和7年度調査が 57.9%と、5.8ポイント増加しています。



※令和2年度調査では、「言葉の意味を知っている」が「意味を知っている」、「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」が「聞いたことはあるが、意味は知らない」、「全く知らない」が「聞いたことがない」となっていました。

【性別】

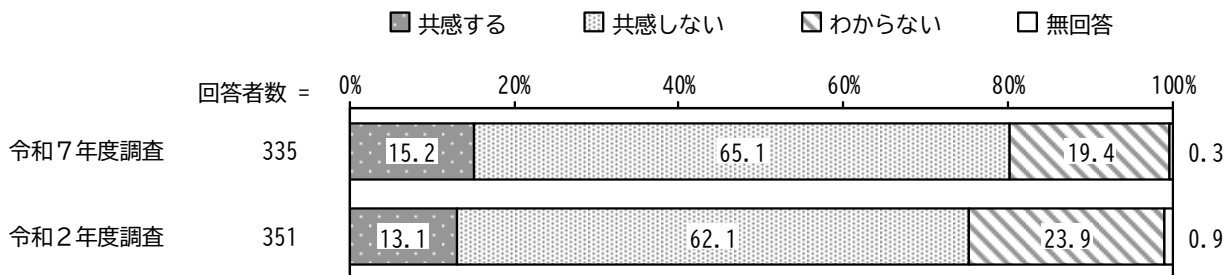
性別にみると、大きな差はみられません。



問 22 「男性は仕事をして、女性は家庭を守る」という性別で役割を分担する考え方がありますが、あなたはこの考え方に共感しますか。(○は1つ)

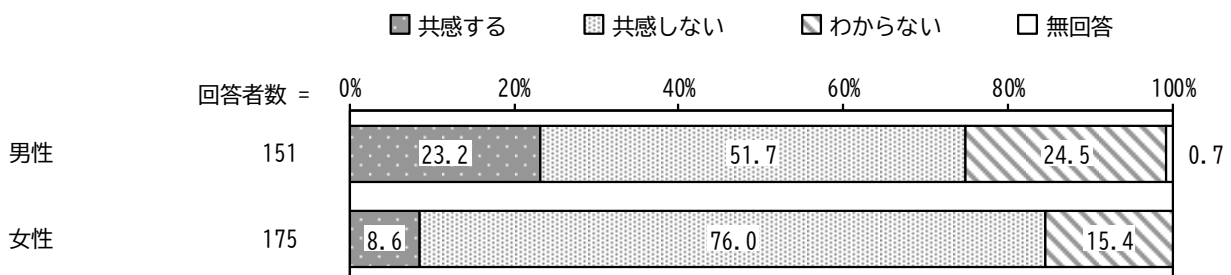
「共感する」の割合が15.2%、「共感しない」の割合が65.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「共感しない」の割合は、令和2年度調査が62.1%であるのに対し、令和7年度調査が65.1%と、3ポイント増加しています。



【性別】

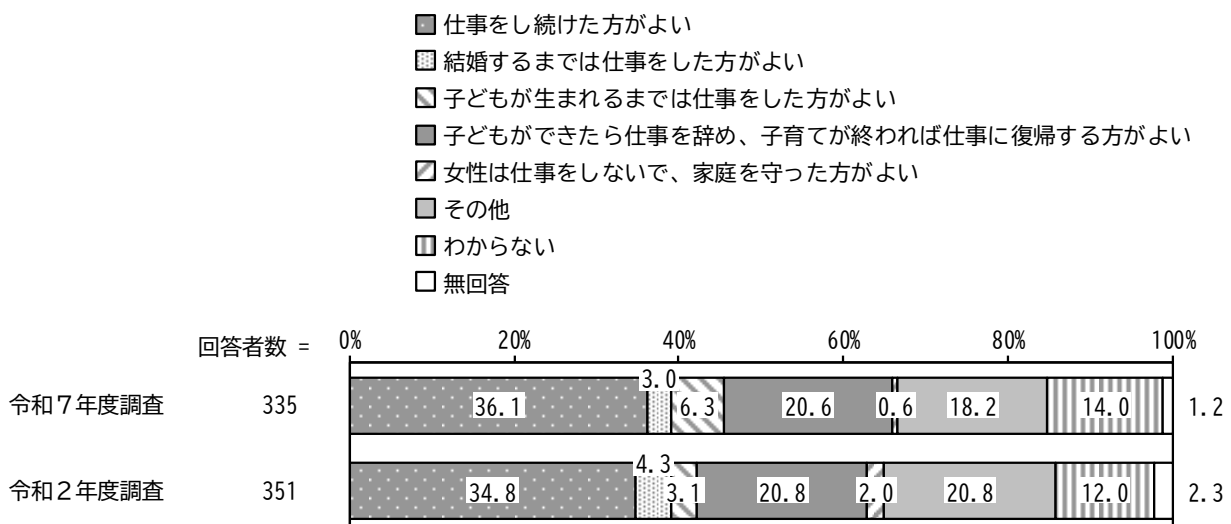
性別にみると、「共感しない」の割合は、男性が51.7%、女性が76.0%と、女性の方が24.3ポイント多くなっています。



問 23 あなたは、女性が仕事をするについて、どのように考えますか。(○は1つ)

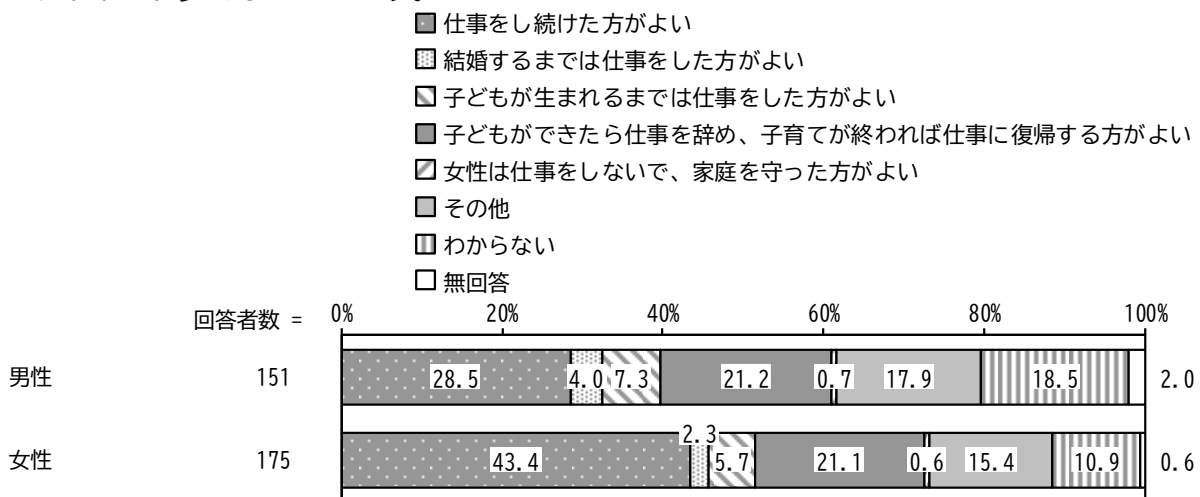
「仕事をし続けた方がよい」の割合が36.1%と最も高く、次いで「子どもができれば仕事を辞め、子育てが終われば仕事に復帰する方がよい」の割合が20.6%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「子どもが生まれるまでは仕事をした方がよい」の割合は、令和2年度調査が3.1%であるのに対し、令和7年度調査が6.3%と、3.2ポイント増加しています。



【性別】

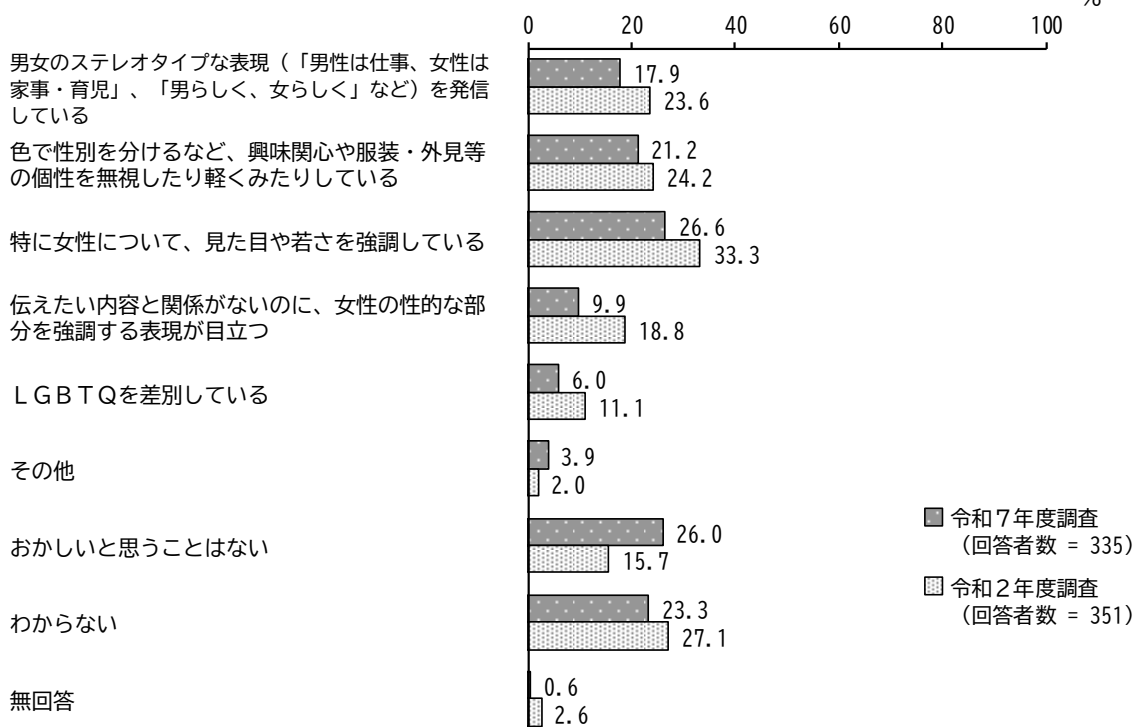
性別にみると、「仕事をし続けた方がよい」の割合は、男性が28.5%、女性が43.4%と、女性の方が14.9ポイント多くなっています。



問24 あなたは、テレビやインターネットなどのメディアが発信するジェンダー表現について、日頃どのように感じますか。(〇はいくつでも)

「特に女性について、見た目や若さを強調している」の割合が26.6%と最も高く、次いで「色で性別を分けるなど、興味関心や服装・外見等の個性を無視したり軽くみたりしている」の割合が21.2%、「男女のステレオタイプな表現（「男性は仕事、女性は家事・育児」、「男らしく、女らしく」など）を発信している」の割合が17.9%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「男女のステレオタイプな表現（「男性は仕事、女性は家事・育児」、「男らしく、女らしく」など）を発信している」の割合は、令和2年度調査が23.6%であるのに対し、令和7年度調査が17.9%と、5.7ポイント、「特に女性について、見た目や若さを強調している」は、令和2年度調査が33.3%であるのに対し、令和7年度調査が26.6%と、6.7ポイント、「伝えたい内容と関係がないのに、女性の性的な部分を強調する表現が目立つ」は、令和2年度調査が18.8%であるのに対し、令和7年度調査が9.9%と、8.9ポイント、「LGBTQを差別している」は、令和2年度調査が11.1%であるのに対し、令和7年度調査が6.0%と、5.1ポイントの割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「LGBTQを差別している」が「LGBTsを差別している」となっていました。

【性別】

性別にみると、「男女のステレオタイプな表現（「男性は仕事、女性は家事・育児」、「男らしく、女らしく」など）を発信している」は、男性が11.9%、女性が22.3%と、女性の方が10.4ポイント、「色で性別を分けるなど、興味関心や服装・外見等の個性を無視したり軽くみたりしている」は、男性が11.3%、女性が29.1%と、女性の方が17.8ポイント、「特に女性について、見た目や若さを強調している」は、男性が18.5%、女性が33.1%と、14.6ポイント、それぞれ女性の方が割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	男女のステレオタイプな表現 （「男性は仕事、女性は家事・ 育児」、「男らしく、女らしく」 など）を発信している	色で性別を分けるなど、興味 関心や服装・外見等の個性を 無視したり軽くみたりしてい る	特に女性について、見た目や 若さを強調している	伝えたい内容と関係がないの に、女性の性的な部分を強調 する表現が目立つ
全 体	335	17.9	21.2	26.6	9.9
男性	151	11.9	11.3	18.5	7.9
女性	175	22.3	29.1	33.1	10.3

区分	LGBTQを差別している	その他	おかしいと思うことはない	わからない	無回答
全 体	6.0	3.9	26.0	23.3	0.6
男性	4.6	4.6	31.1	29.8	0.7
女性	5.7	2.9	21.7	18.9	0.6

